



都営交通
TOEI TRANSPORTATION

2018 経営レポート

Management report



はじめに

日頃から、都営交通をご利用いただき、ありがとうございます。

東京都交通局は、都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー、上野動物園モノレール及び発電の6事業並びにこれらに関連する事業を運営しています。

経営に当たっては、東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関としての使命を果たすため、安全・安心の確保を最優先に、接遇の向上や快適な施設の整備に取り組む一方、コスト縮減や業務運営の効率化などにも努めています。

このレポートは、東京都交通局の経営状況等を簡潔にまとめ、お客様や都民の皆様の、交通局事業に対する理解と信頼とを得ることを目的として作成しています。

目次

1 都営交通について P3 都営交通について	2 経営の状況 P5 事業別の状況 P7 財務指標（営業収益） P9 財務指標（経常損益） P11 運輸成績表、決算総括表 P13 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書	3 経営指標比較（事業別） P15 比較対象団体、使用する指標 P17 高速電車事業／都営地下鉄 P21 自動車運送事業／都営バス P25 軌道事業／東京さくらトラム（都電荒川線） P27 新交通事業／日暮里・舎人ライナー P31 電気事業／発電 P33 関連事業（不動産等活用事業・広告事業・構内営業事業）	4 経営計画2016の進捗状況 P35 進捗状況（2017年度時点） P36 史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現に向けた取組 P37 安全・安心の確保 P38 質の高いサービスの提供 P39 東京の発展に貢献 P40 経営基盤の強化
--	--	--	--

（凡例） 数値については、原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。
金額については、原則として、税抜きで表示しています。
一日平均は、営業日数で除したものです。
（2017年度営業日数 上野動物園モノレール：308日、その他：365日）

（報告期間） 報告対象期間は、2017年度（2017年4月1日から2018年3月31日まで。）です。
ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。

経営理念

私たち都営交通は、都民やお客様に信頼され、支持される公共交通機関として、安全・安心を何よりも大切にし、東京の都市活動や都民生活を支えています。

経営方針	主な計画事業 (2016年度-2018年度)	計画事業費 (2016年度-2018年度)
都民やお客様の信頼に応えるため、安全・安心を最優先し、全職員が一丸となって、災害に強く、事故のない都営交通を実現します。	○安全対策の強化 ○災害対策等の強化	1,101 億円
お客様が求める質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい都営交通を実現します。	○輸送需要への的確な対応 ○旅行者にも利用しやすい環境の整備 ○新たなバスモデルの展開	564 億円
首都東京が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、東京の発展に貢献する都営交通を実現します。	○まちづくりとの連携 ○持続可能な社会の実現への貢献 ○沿線地域の発展に貢献	182 億円
事業環境の変化にも迅速かつ的確に対応するとともに、中長期的に安定した事業運営を行っていくため、経営基盤を強化します。	○関連事業の推進 ○安定的な人材の確保と育成	17 億円



職員数 (2018年3月31日)	事業	指標 (2017年度)
6,374 名 ^{*1} ＜内訳＞ 事務 1,384 名 技術 740 名 運転 2,696 名 地下鉄車掌 253 名 鉄道営業 583 名 交通技能 636 名 その他 82 名 *1 再任用短時間勤務職員除く。	◆高速電車事業会計 ・ 都営地下鉄 ◆交通事業会計 ・ 都営バス ・ 東京さくらトラム（都電荒川線） ・ 日暮里・舎人ライナー ・ 上野動物園モノレール ◆電気事業会計 ・ 発電 ※関連事業 ・ 不動産等活用事業 ・ 広告事業 ・ 構内営業事業 等	乗車人員（5事業合計 ^{*2} ） 12.9 億人 営業収益 1,994 億円 経常利益 350 億円 *2 都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー及び上野動物園モノレールの5事業を指す。



2 経営の状況
事業別の状況

交通局は以下の三つの会計を設け、地方公営企業法に基づいてそれぞれの事業を経理しています。

- ・ 高速電車事業会計
- ・ 交通事業会計（自動車運送事業・軌道事業・新交通事業・懸垂電車事業）
- ・ 電気事業会計



2017年度事業別主要数値(対前年度比)

	都営地下鉄	都営バス	東京さくらトラム (都電荒川線)
			
年間 (万人・MWh)	100,453 (3.2%↑)	23,173 (5.6%↑)	1,744 (4.6%↑)
一日平均 (万人・kWh)	275 (3.2%↑)	63.5 (5.6%↑)	4.8 (4.6%↑)
年間(億円)	1,403 (2.1%↑)	364 (5.1%↑)	21 (4.2%↑)
一日平均 (万円)	38,432 (2.1%↑)	9,972 (5.1%↑)	586 (4.2%↑)
経常損益(億円)	340 (11.7億円↑)	8.2 (8.7億円↑)	0.6 (2.8億円↑)
未処分利益剰余金 △累積欠損金> (億円)	△2,604 (342億円↑)	45.5 (13.4億円↑)	△0.2 (0.8億円↑)



日暮里・舎人 ライナー	上野動物園 モノレール	発 電
		
3,139 (7.5%↑)	109 (6.5%↑)	92,578 (10.5%↓)
8.6 (7.5%↑)	0.4 (7.2%↑)	253,639 (10.5%↓)
55 (7.5%↑)	1 (7.7%↑)	14 (10.5%↓)
1,507 (7.5%↑)	41 (8.4%↑)	396 (10.5%↓)
△4.3 (3.9億円↑)	0.2 (0.1億円↓)	5.3 (2.4億円↓)
△151.9 (4.0億円↓)	2.6 (0.2億円↑)	5.3 (2.4億円↓)

2 経営の状況

財務指標（営業収益）

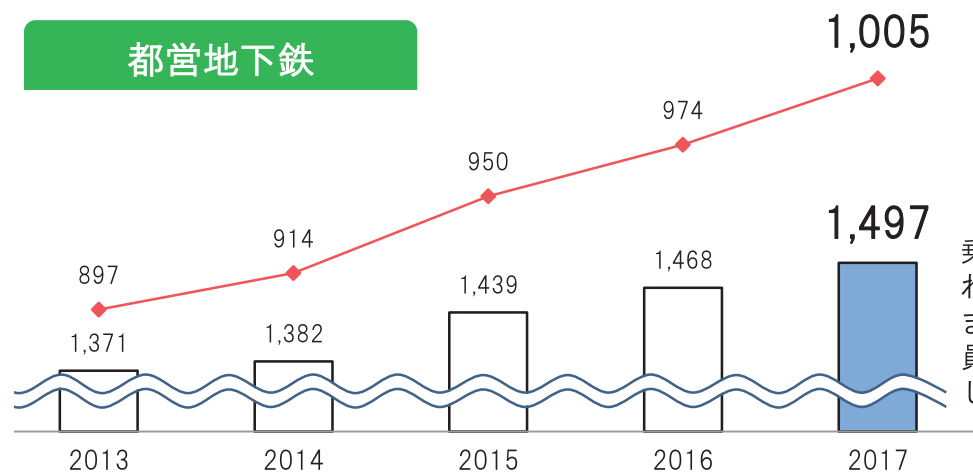
財務指標

企業の経営活動の結果は決算に集約されます。交通局の経営状況を客観的に評価するため、決算の数値に基づいて、財務に関する指標を算定しました。指標については、安定した事業運営の基本である収益性の観点から選定しました。

営業収益（2013年度－2017年度）

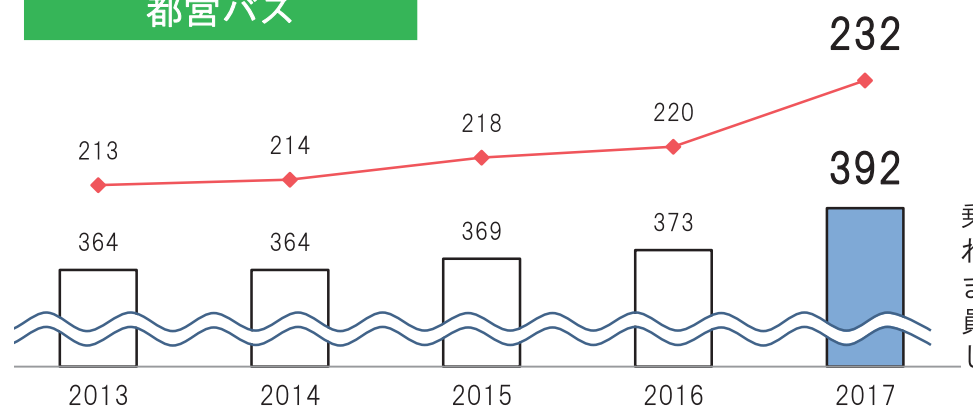
売上に相当し、乗車料、電力料、関連事業収入などが含まれます。

都営地下鉄



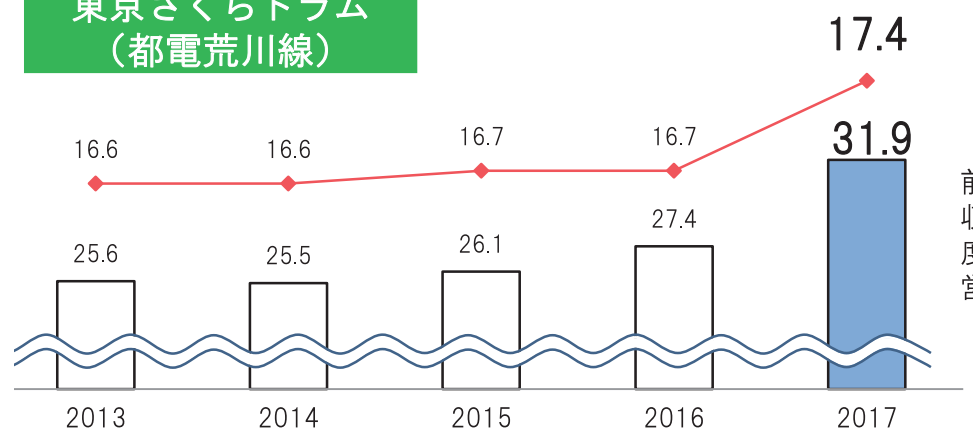
乗車人員は近年増加傾向にあり、それに合わせて営業収益も増加しています。2013年度と比較して、乗車人員は12%増加、営業収益は9%増加しています。

都営バス



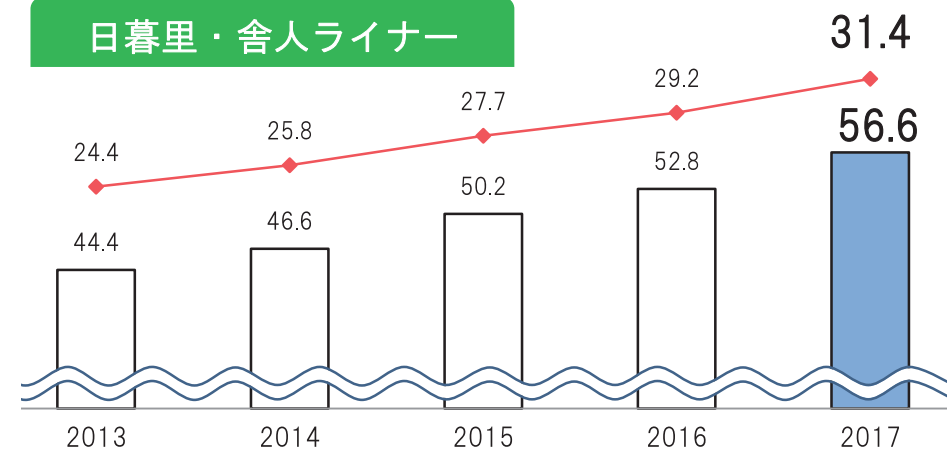
乗車人員は近年増加傾向にあり、それに合わせて営業収益も増加しています。2013年度と比較して、乗車人員は9%増加、営業収益は8%増加しています。

東京さくらトラム （都電荒川線）



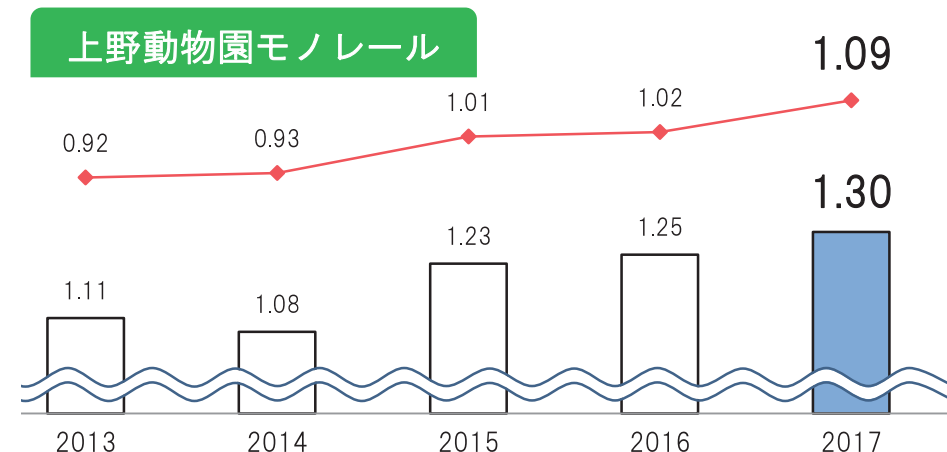
前年度と比較して、乗車人員・営業収益ともに増加しています。2013年度と比較して、乗車人員は5%増加、営業収益は25%増加しています。

日暮里・舎人ライナー



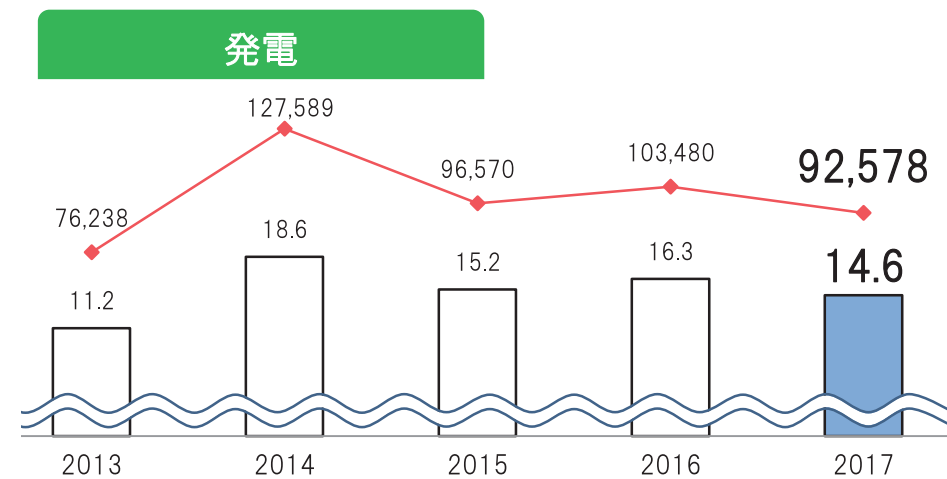
乗車人員は近年増加傾向にあり、それに合わせて営業収益も増加しています。2013年度と比較して、乗車人員は29%増加、営業収益は28%増加しています。

上野動物園モノレール



前年度と比較して、乗車人員・営業収益ともに増加しています。2013年度と比較して、乗車人員は18%増加、営業収益は17%増加しています。

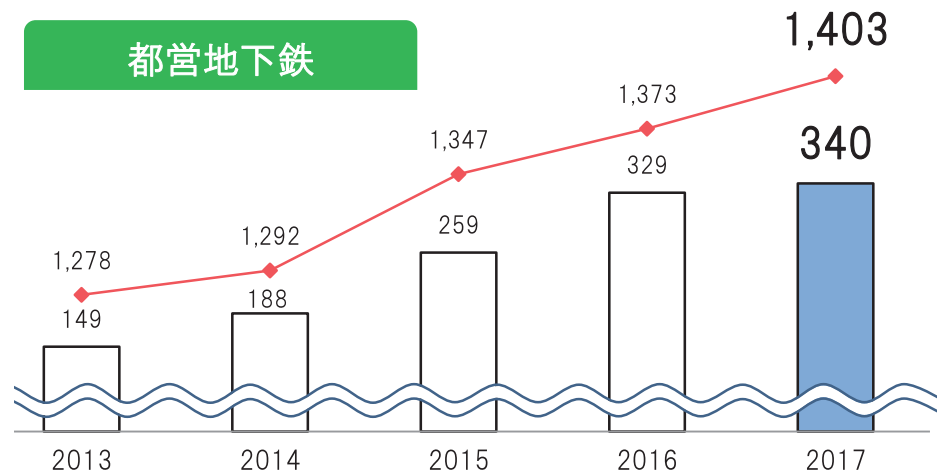
発電



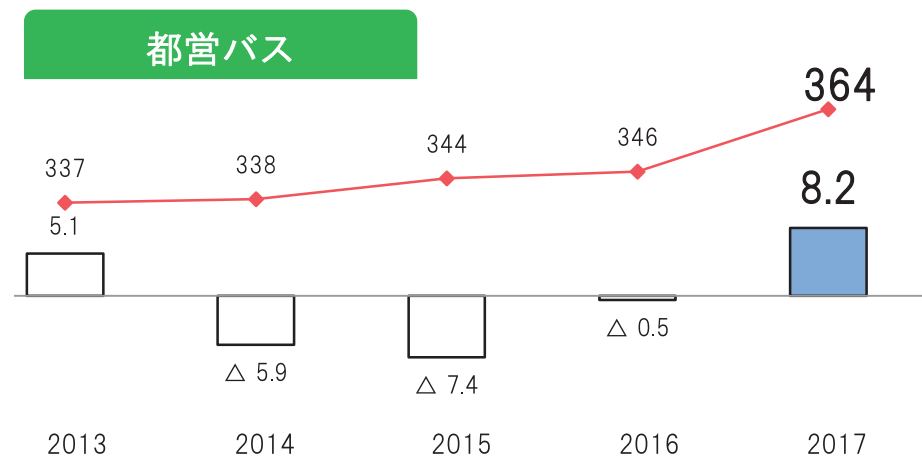
ダム放流量の増減等により発電量が左右されることから、年度ごとの増減が大きくなっています。前年度と比較して、販売電力量は11%減少、営業収益は10%減少しています。

経常損益（2013年度－2017年度）

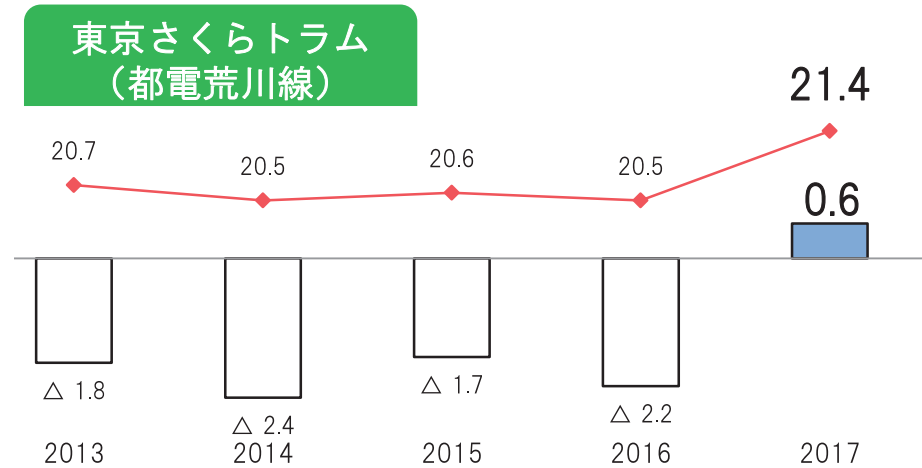
企業の継続的な活動による損益で、本業の損益に財産収入や支払利息などを加えたものです。



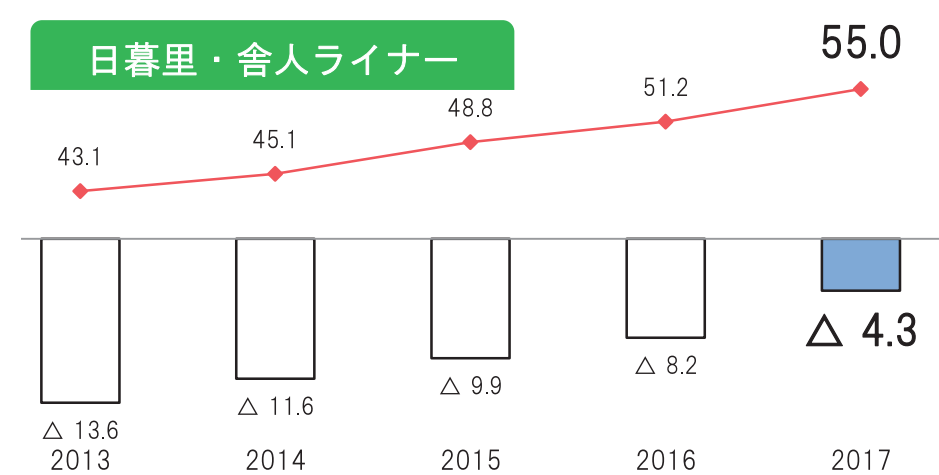
乗車料収入は近年増加傾向にあり、それに合わせて経常損益も増加しています。2013年度と比較して、乗車料収入は124億円増加、経常損益は191億円増加しています。



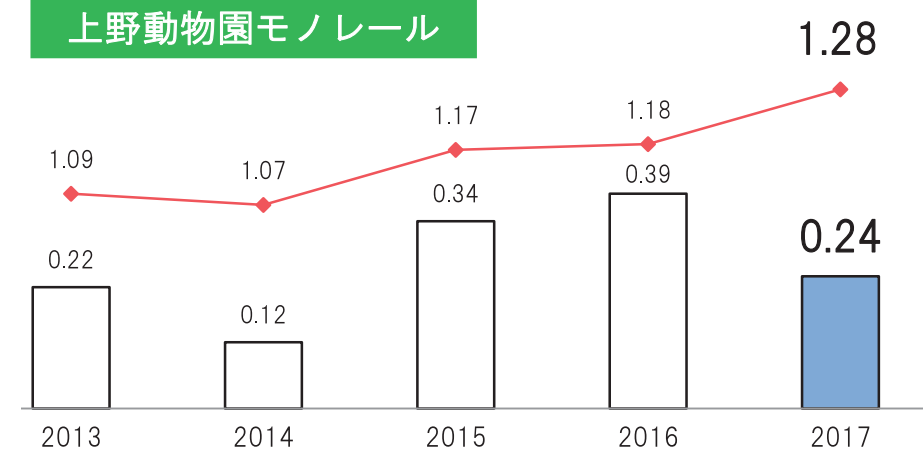
乗車料収入は近年増加傾向にあります。経常損益は2015年度を底に改善傾向にあり、2017年度は黒字となりました。2013年度と比較して、乗車料収入は27億円増加、経常損益は3.1億円増加しています。



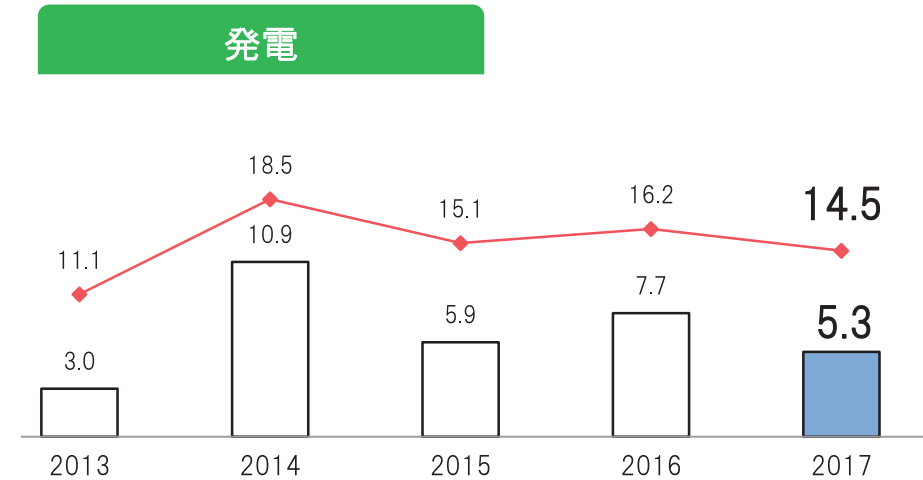
乗車料収入は近年ほぼ横ばいで推移していましたが、2017年度は前年度と比較して増加しました。経常損益は近年赤字が続いていましたが、2017年度は黒字となりました。2013年度と比較して、乗車料収入は0.7億円の増加、経常損益は2.3億円改善しています。



乗車料収入は近年増加傾向にあり、それに合わせて経常損益も改善傾向にあります。2013年度と比較して、乗車料収入は11.9億円増加、経常損益は9.3億円改善しています。



乗車料収入は近年増加傾向にあります。経常損益は、数千万円の黒字で推移しています。2013年度と比較して、乗車料収入は0.2億円増加、経常損益はおおむね同じ値です。



売電単価や発電量の違いにより、年度ごとの増減が大きくなっています。前年度と比較して、電力料収入は1.7億円減少、経常損益は2.4億円減少しています。

運輸成績表（2017年度）

事業名		車両数 期末 (両)	走行キロ 年間 (千km)	乗車人員		乗車料収入	
				年間 (億人)	一日平均 (万人)	年間 (億円)	一日平均 (万円)
都 営 地 下 鉄		1,142	121,486	10.0	275.2	1,403	38,432
	浅 草 線	216	22,566	2.7	74.3	315	8,636
	三 田 線	222	21,200	2.4	65.7	296	8,097
	新 宿 線	264	32,351	2.8	77.2	365	10,009
	大 江 戸 線	440	45,369	3.5	95.6	427	11,690
都 営 バ ス		1,481	46,562	2.3	63.5	364	9,972
	乗 合	1,476	46,239	2.3	63.3	361	9,884
	貸 切	5	322	0.005	0.1	3	88
東京さくらトラム （都電荒川線）		36	1,491	0.2	4.8	21	586
日 暮 里 ・ 舎 人 ラ イ ナ ー		90	7,756	0.3	8.6	55	1,507
上 野 動 物 園 モ ノ レ ー ル		2	21	0.01	0.4	1	41
合 計		2,751	177,316	12.9	352.4	1,844	50,533
発 電	水力発電所（3か所） 多摩川第一発電所 認可最大出力/19,000kW 多摩川第三発電所 認可最大出力/16,400kW 白丸発電所 認可最大出力/ 1,100kW			販売電力量 92,578MWh 電力料収入 1,446百万円			

(注)
1 都営地下鉄の乗車人員合計は、自線内相互の乗換人員を1人として計算したものであり、4線の乗車人員の単純合計ではない。
2 上野動物園モノレールは、動物園休園日及び次の期間においては運転を休止している（2017年11月27日～同年12月11日）。

ホームページへの掲載について

2017年度決算の詳細については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。
東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 決算 > 平成29年度決算
https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/closing/29_closing.html

決算総括表（2017年度）

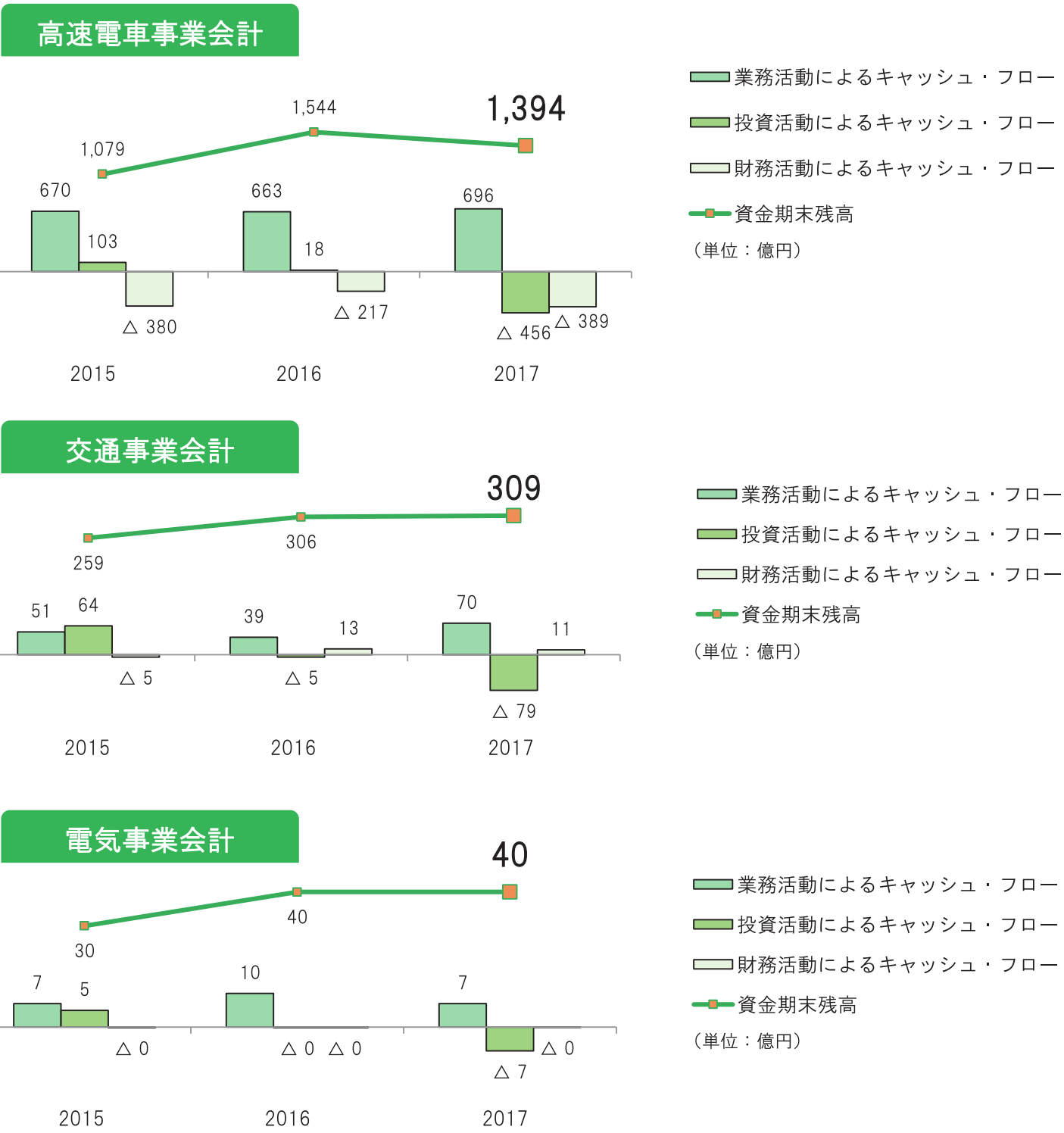
（単位：百万円）

			高速電車 事業会計	交通事業会計					電気事業 会計
				自動車 運送事業	軌道事業	新交通 事業	懸垂電車 事業	計	
収益的収支	収入	営業収益	149,715	39,196	3,194	5,661	130	48,181	1,463
		乗車料・電力料 その他	140,277	36,398	2,139	5,501	128	44,167	1,446
			9,438	2,798	1,055	160	2	4,015	17
		営業外収益	14,873	1,794	6,337	162	14	8,307	28
		一般会計補助金 長期前受金戻入 その他	4,638	1,441	60	31	—	1,532	1
			9,154	134	16	1	—	151	26
			1,081	220	6,260	130	14	6,624	1
		特別利益	988	522	27	30	0	580	5
		計	165,577	41,512	9,558	5,854	144	57,068	1,497
	支出	営業費用	123,144	39,832	3,190	5,749	106	48,876	966
		人件費 物件費 減価償却費	35,328	25,772	1,181	902	49	27,904	200
			45,033	11,278	1,298	2,868	57	15,501	560
			42,783	2,781	711	1,979	—	5,471	206
		営業外費用	7,401	336	6,283	506	14	7,139	0
		利子及取扱費 その他	6,520	117	7	362	—	486	—
			881	219	6,276	144	14	6,653	0
		特別損失	847	8	—	—	—	8	—
		計	131,392	40,176	9,473	6,254	120	56,024	966
	損益	営業損益	26,571	△ 636	4	△ 87	24	△ 695	498
		経常損益	34,043	822	58	△ 431	24	473	526
		償却前損益	67,672	3,470	752	1,547	24	5,793	705
		純損益	34,184	1,336	84	△ 401	24	1,044	531
資本的収支	収入	企業債	5,000	2,700	140	3,280	/	6,120	—
		一般会計出資金	5,039	—	—	826		826	—
		国庫補助金	1,356	2	—	1		2	—
		一般会計補助金	1,506	18	—	—		18	—
		その他	10,643	129	0	—		129	—
		計	23,544	2,849	140	4,107		7,095	—
	支出	建設改良費	23,542	3,688	303	4,112		8,103	343
		企業債償還金	51,413	2,000	—	90		2,090	—
		投資	13,135	—	—	—		—	—
		計	88,091	5,688	303	4,202		10,193	343
		収支差額	△ 64,546	△ 2,840	△ 163	△ 96		△ 3,098	△ 343

貸借対照表（2017年度）

	高速電車 事業会計	交通 事業会計	電気 事業会計
（資産の部）			
1 固定資産	1,364,325	180,743	3,848
有形固定資産	1,323,366	72,446	3,841
無形固定資産	1,915	106	6
投資その他の資産	39,044	108,192	1
2 流動資産	187,978	42,261	4,724
現金及び預金	139,374	30,887	3,971
未収金	15,096	5,707	202
有価証券	22,719	4,729	552
貯蔵品	2,369	235	—
前払費用	43	13	—
前払金	8,349	688	—
未収収益	12	1	0
その他流動資産	16	—	—
資産合計	1,552,304	223,005	8,573
（負債の部）			
3 固定負債	779,256	61,926	169
企業債	295,601	42,812	—
長期借入金	245,000	—	—
リース債務	389	140	3
引当金	29,639	18,974	167
その他固定負債	208,627	—	—
4 流動負債	68,146	18,518	304
企業債	31,595	5,380	—
リース債務	184	66	1
未払金	24,754	7,773	287
未払費用	410	40	—
前受金	7,353	812	—
引当金	2,395	1,771	16
預り金	1,457	2,675	1
5 繰延収益	417,218	1,733	652
長期前受金	417,218	1,733	652
負債合計	1,264,621	82,177	1,126
（資本の部）			
6 資本金	448,502	53,513	2,961
一般会計出資金	448,502	9,154	—
再評価積立金組入額	—	1,261	—
減債積立金組入額	—	30,900	1,633
その他剰余金組入額	—	12,198	1,328
7 剰余金	△ 160,819	86,771	4,486
資本剰余金	99,616	172	0
利益剰余金(△欠損金)	△ 260,434	86,598	4,486
8 評価差額等	—	544	—
その他有価証券評価差額	—	544	—
資本合計	287,683	140,828	7,447
負債資本合計	1,552,304	223,005	8,573

キャッシュ・フロー計算書（2015年度－2017年度）



3 経営指標比較（事業別）
比較対象団体、使用する指標

交通局の経営状況について、指標を用いて、他都市との比較・分析を行いました。

また、都営地下鉄の路線別収支状況や都営バスの系統別収支状況のほか、関連事業の経営状況についても掲載しました。

なお、各指標は2016年度までの数値を使用しています。

引き続き、経営の透明性を高めていく観点から、積極的な経営情報の公開に取り組んでいきます。

◆比較対象団体

事業名	団体	団体数
高速電車事業/ 都営地下鉄	札幌市 仙台市 東京都 横浜市 名古屋市 京都市 大阪市 神戸市 福岡市	9
自動車運送事業/ 都営バス	青森市 八戸市 仙台市 東京都 三宅村 八丈町 横浜市 川崎市 南アルプス市 伊那市 名古屋市 京都市 大阪市 高槻市 神戸市 伊丹市 松江市 宇部市 徳島市 北九州市 佐賀市 長崎県 佐世保市 鹿児島市 沖縄県 沖永良部バス企業団 【廃止】 (2012年度) 鳴門市 (2014年度) 岩国市 小松島市 松浦市 熊本市 (2015年度) 尼崎市	25
軌道事業/ 東京さくらトラム (都電荒川線)	札幌市 函館市 東京都 熊本市 鹿児島市	5
新交通事業/ 日暮里・舎人 ライナー ※懸垂電車事業含む	東京都 大阪市	2
電気事業/ 発電	北海道 岩手県 秋田県 山形県 美浦村(2013年度開始) 栃木県 群馬県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 金沢市 山梨県 長野県 三重県 京都府 兵庫県(2013年度開始) 鳥取県 島根県 岡山県 山口県 徳島県 愛媛県 高知県 福岡県 熊本県 大分県 宮崎県	28

(注)

1 使用数値は、総務省「地方公営企業決算状況調査」(平成24年度～平成28年度)による。
2017年度数値は本レポート作成時点で未公表

2 新交通事業の数値には懸垂電車事業の数値も含む。

3 各指標の「平均値」は上記の表の団体の平均(団体数は2016年度の数値)

◆使用する指標

指標	単位	指標の説明	都営 地下鉄	都営 バス	東京 さくら トラム	日暮里・ 舎人 ライナー	発電
営業収支比率	%	当該年度において料金収入等の営業活動から生じる収益で、人件費や燃料費、発電費等の営業費用をどの程度賄えているかを表す。	○	○	○	○	○
経常収支比率	%	当該年度において料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、人件費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す。	○	○	○	○	○
流動比率	%	短期的な債務の支払能力を表す。	○	○	○	○	○
累積欠損金 比率	%	事業の規模に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと。)の状況を表す。	○	○	○	○	—
利用者1回当たり 運行経費	円	利用者がバス等を1回利用するに当たり、費用がどれだけ掛かっているかを表す。	○	○	○	○	—
他会計負担 比率	%	人件費や支払利息等の費用が一般会計等の他会計の負担によってどの程度賄われているかを表す。	○	○	○	○	—
企業債残高対 料金収入比率	%	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す。	○	○	○	○	○
有形固定資産 減価償却率	%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す。	○	○	○	○	○
走行キロ当たり の収入	円	運行1キロ当たりでどれだけの収入を上げられているかを表す。	○	○	○	○	—
走行キロ当たり の運送原価	円	運行1キロ当たりでどれだけの経費が掛かっているかを表す。	○	○	○	○	—
走行キロ当たり の人件費	円	運行1キロ当たりでどれだけの人件費が掛かっているかを表す。	○	○	○	○	—
乗車効率	%	車両1台の乗車定員に対する平均輸送人員の割合であり、定員当たりでどの程度乗車しているかを表す。	○	○	○	○	—
供給原価	円	販売電力量1MWh当たりでどれだけの費用が掛かっているかを表す。	—	—	—	—	○
設備利用率	%	本来備えている発電能力と実際の発電電力量との割合であり、設備の利用状況や適正規模を判断する指標	—	—	—	—	○
修繕費比率	%	費用のうち、施設修繕、管理やメンテナンスに掛かっている割合を表す。	—	—	—	—	○



高速電車事業 / 都営地下鉄

都営地下鉄は、浅草線・三田線・新宿線・大江戸線の4路線を営業し、2017年度は、一日平均約275万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

10億人

在籍車両数

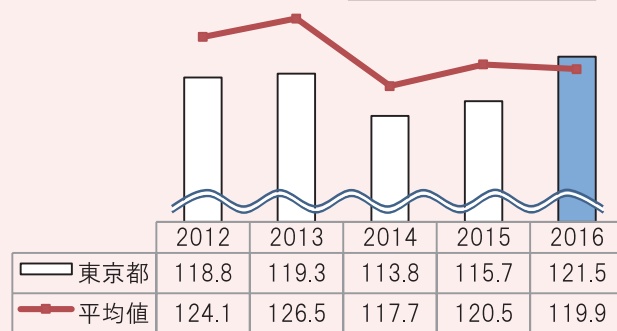
1,142両

経営の健全性

営業収支比率 (%)

＝営業収益/営業費用×100

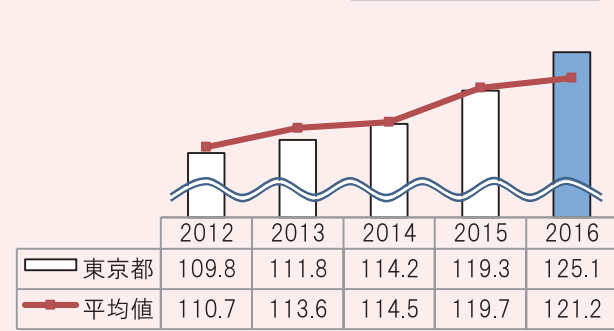
121.5%



経常収支比率 (%)

＝経常収益/経常費用×100

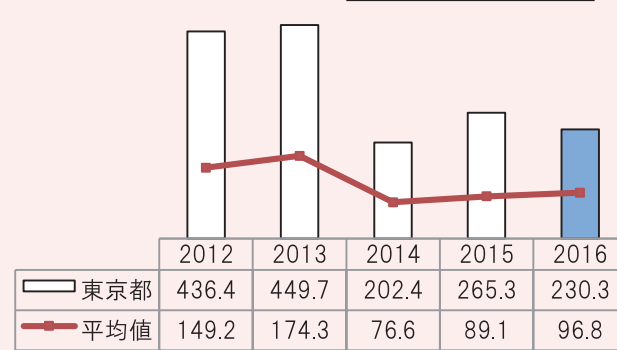
125.1%



流動比率 (%)

＝流動資産/流動負債×100

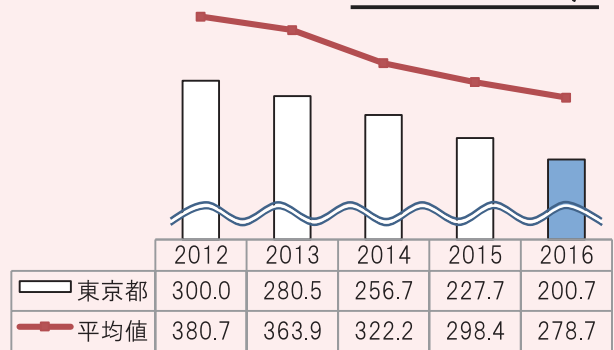
230.3%



累積欠損金比率 (%)

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

200.7%

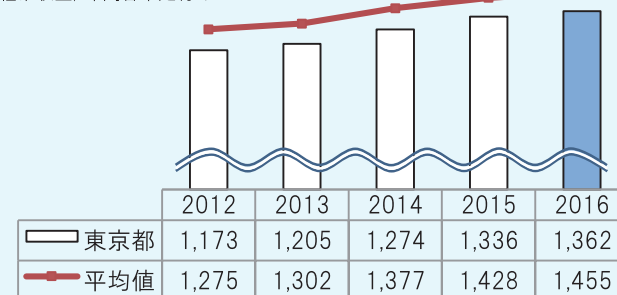


経営の効率性

走行キロ当たりの収入 (円)

＝経常収益/年間客車走行キロ

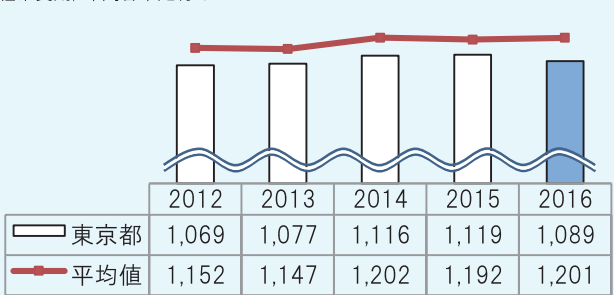
1,362円



走行キロ当たりの運送原価 (円)

＝経常費用/年間客車走行キロ

1,089円



経営の健全性

- 「経常収支比率」が右肩上がりで推移し安定して黒字を計上していることなどから、「累積欠損金比率」は減少傾向です。
- 「利用者1回当たり運行経費」と「他会計負担比率」は平均値より低い水準で推移しています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は企業債残高が減少する一方で乗車料収入が増加しているため、減少傾向にあります。

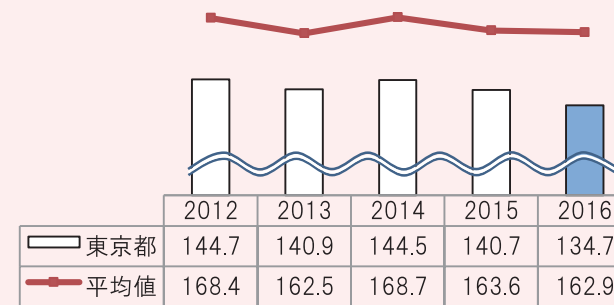
経営の効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は乗車料収入の増加を反映して右肩上がりで推移しています。
- 「乗車効率」は平均値を上回るとともに、輸送人員の増加を反映して、増加傾向にあります。

利用者1回当たり
運行経費 (円)

＝経常費用/年間輸送人員

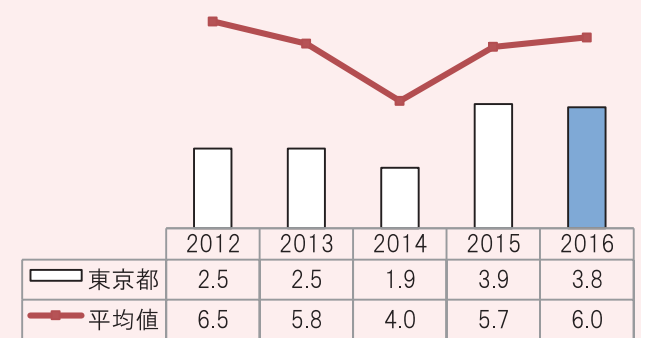
134.7円



他会計負担比率 (%)

＝(他会計補助金+他会計負担金)/経常費用×100

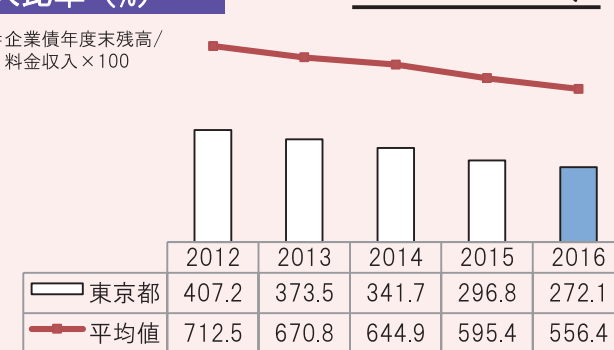
3.8%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

＝企業債年度末残高/
料金収入×100

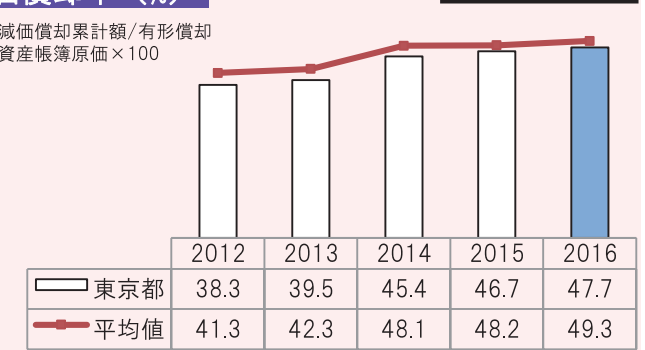
272.1%



有形固定資産
減価償却率 (%)

＝減価償却累計額/有形償却
資産帳簿原価×100

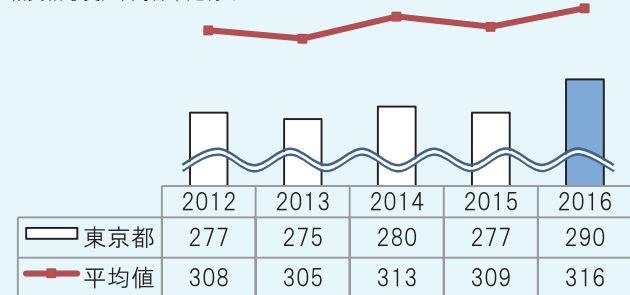
47.7%



走行キロ当たり
の人員費 (円)

＝職員給与費/年間客車走行キロ

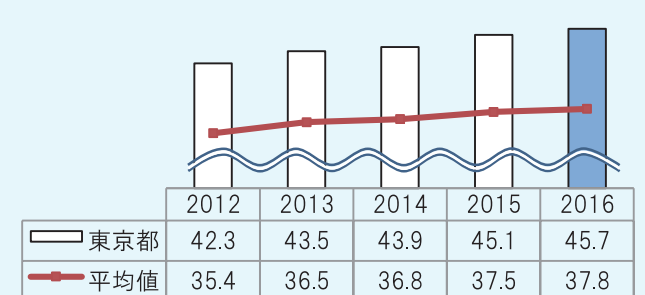
290円



乗車効率 (%)

＝{延人キロ/(年間客車走行キロ
×平均乗車定員数)}×100

45.7%



3 経営指標比較（事業別）

【都営地下鉄】路線別収支・駅別乗降人員（2017年度）

路線別収支

駅別乗降人員

A 浅草線

収益の収入	342 億円
収益の支出	207 億円
損益額	135 億円
乗車料収入	0.9 億円／日
乗車人員	74 万人／日
営業係数	61

I 三田線

収益の収入	325 億円
収益の支出	232 億円
損益額	93 億円
乗車料収入	0.8 億円／日
乗車人員	66 万人／日
営業係数	71

S 新宿線

収益の収入	419 億円
収益の支出	313 億円
損益額	105 億円
乗車料収入	1.0 億円／日
乗車人員	77 万人／日
営業係数	75

E 大江戸線

収益の収入	570 億円
収益の支出	562 億円
損益額	9 億円
乗車料収入	1.2 億円／日
乗車人員	96 万人／日
営業係数	98

(単位：人・％)

順位	駅名	2017年度	前年比
1	新橋	98,317	3.2
2	日本橋	96,939	2.1
3	東銀座	83,607	4.7
4	東日本橋	83,290	3.3
5	五反田	70,376	3.0
6	浅草橋	60,454	2.2
7	押上	58,055	3.9
8	浅草	54,556	2.3
9	人形町	52,172	2.5
10	三田	50,499	2.8
11	大門	49,281	4.4
12	西馬込	47,457	3.7
13	泉岳寺	44,513	5.1
14	蔵前	36,154	2.2
15	中延	31,144	1.7
16	宝町	30,176	7.8
17	馬込	27,720	5.2
18	戸越	21,786	2.4
19	本所吾妻橋	19,111	2.0
20	高輪台	14,822	▲0.7

(単位：人・％)

順位	駅名	2017年度	前年比
1	大手町	104,455	4.5
2	巣鴨	96,125	0.6
3	日比谷	86,185	3.0
4	神保町	66,964	3.9
5	白山	51,263	1.6
6	三田	48,290	3.5
7	水道橋	48,084	3.0
8	御成門	46,629	7.8
9	内幸町	45,317	3.6
10	春日	35,093	2.3
11	板橋本町	34,846	2.9
12	板橋区役所前	34,647	2.9
13	志村三丁目	32,427	▲2.4
14	千石	31,936	0.7
15	芝公園	31,368	2.1
16	志村坂上	31,211	2.1
17	新板橋	30,711	3.9
18	高島平	30,582	1.7
19	西巣鴨	30,037	4.3
20	白金高輪	27,061	2.4
21	西台	26,106	6.9
22	本蓮沼	24,960	5.9
23	目黒	22,371	6.8
24	蓮根	19,566	1.5
25	西高島平	12,914	1.4
26	白金台	10,819	1.4
27	新高島平	10,025	1.7

(単位：人・％)

順位	駅名	2017年度	前年比
1	馬喰横山	115,517	3.3
2	九段下	111,410	5.1
3	新宿	107,629	5.4
4	市ヶ谷	98,926	4.0
5	本八幡	77,907	4.4
6	新宿三丁目	73,148	3.6
7	小川町	72,113	3.8
8	船堀	63,212	2.8
9	神保町	57,257	3.2
10	瑞江	56,546	1.7
11	岩本町	53,741	4.5
12	住吉	44,268	4.0
13	一之江	43,548	3.6
14	篠崎	39,858	3.1
15	曙橋	38,039	3.4
16	大島	33,113	3.0
17	東大島	32,646	1.2
18	西大島	28,711	3.0
19	菊川	25,620	3.8
20	森下	22,817	5.3
21	浜町	22,335	1.8

(単位：人・％)

順位	駅名	2017年度	前年比	順位	駅名	2017年度	前年比
1	勝どき	102,315	2.8	20	代々木	37,678	1.2
2	六本木	100,587	▲0.3	21	両国	33,839	3.4
3	門前仲町	87,957	2.1	22	蔵前	33,503	2.6
4	新宿	85,368	2.2	23	西新宿五丁目	33,348	3.6
5	練馬	80,302	2.3	24	飯田橋	33,273	2.2
6	青山一丁目	77,999	2.5	25	築地市場	32,729	▲2.7
7	月島	73,692	2.6	26	若松河田	31,796	2.1
8	大門	71,324	3.5	27	新江古田	28,035	3.7
9	光が丘	62,937	2.4	28	東中野	27,933	0.6
10	新宿西口	59,709	1.8	29	落合南長崎	27,147	4.3
11	上野御徒町	58,303	4.4	30	中井	25,482	3.6
12	汐留	54,276	2.0	31	春日	25,175	2.5
13	新御徒町	52,281	4.0	32	練馬春日町	22,260	3.4
14	都庁前	50,008	3.2	33	本郷三丁目	21,554	3.1
15	清澄白河	41,892	2.1	34	牛込柳町	20,596	2.2
16	東新宿	41,560	4.4	35	森下	15,564	5.5
17	中野坂上	40,788	2.8	36	牛込神楽坂	14,841	1.2
18	赤羽橋	40,429	5.2	37	豊島園	11,716	1.0
19	麻布十番	38,261	1.5	38	国立競技場	10,366	11.6

(注)

- 1 2017年度決算値を基に推計している。
- 2 収入及び支出は、全体の金額を営業キロ等で各路線に配分している。
- 3 乗車人員は、乗車券の発売等のデータを基に推計している。
- 4 営業係数は、その路線が100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字
- 5 推計方法の見直し等により、今後、数値が改定される場合がある。



自動車運送事業 / 都営バス

都営バスは、主に東京都のＪＲ山手線と荒川とに囲まれた地域の内側及び江戸川区の一部並びに多摩地域の一部で運行しており、2017年度は、一日平均約63万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

2.3億人

在籍車両数

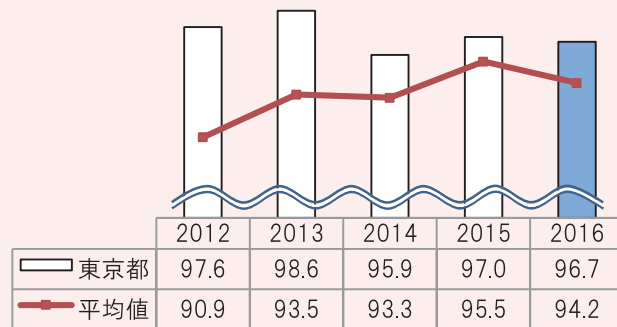
1,481両

経営の健全性

営業収支比率 (%)

＝営業収益/営業費用×100

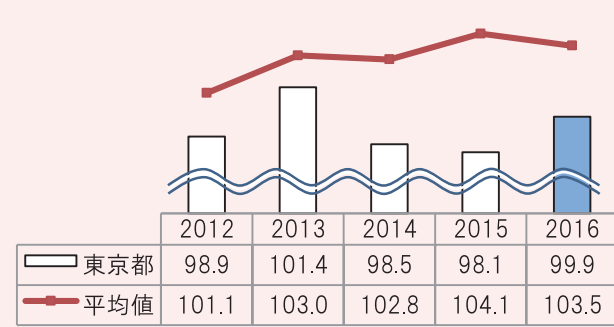
96.7%



経常収支比率 (%)

＝経常収益/経常費用×100

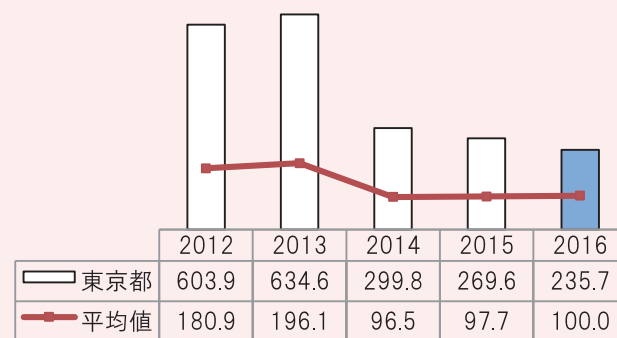
99.9%



流動比率 (%)

＝流動資産/流動負債×100

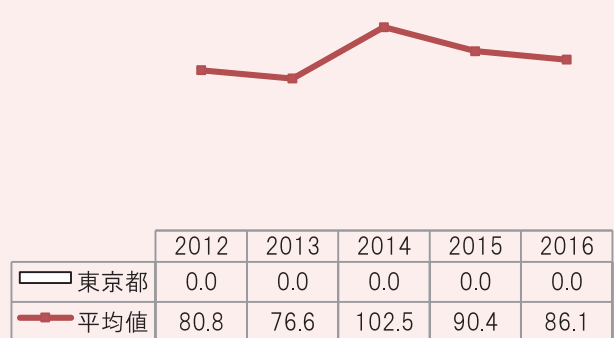
235.7%



累積欠損金比率 (%)

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

0%

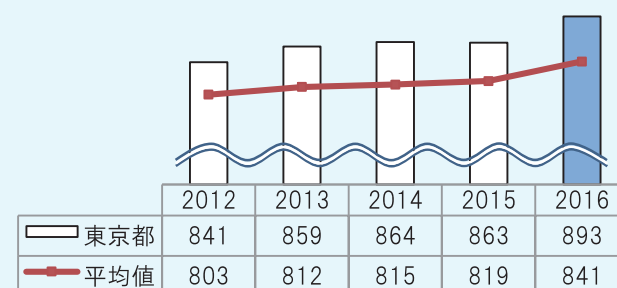


経営の効率性

走行キロ当たりの収入 (円)

＝経常収益/年間実車走行キロ

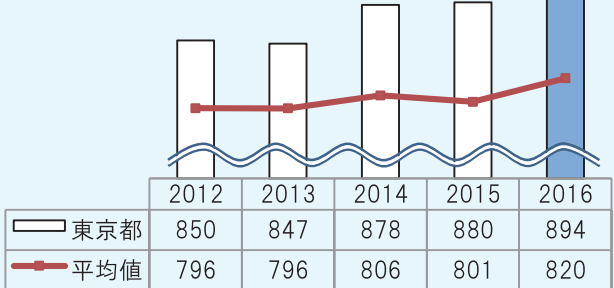
893円



走行キロ当たりの運送原価 (円)

＝経常費用/年間実車走行キロ

894円



経営の健全性

- 「営業収支比率」は平均より高く収益性が高いが、「他会計負担比率」が低い(他会計からの負担金や補助金が少ない)ため、「経常収支比率」が平均値より低くなっています。
- 「利用者1回当たり運行経費」は平均値より低い水準にあり、年度別推移はおおむね横ばいです。
- 「企業債残高対料金収入比率」は企業債残高が減少する一方で料金収入が増加しているため、減少傾向にあります。

経営の効率性

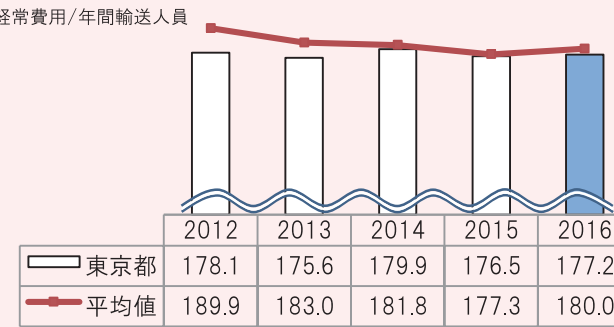
- 「走行キロ当たりの収入」、「走行キロ当たりの運送原価」及び「走行キロ当たりの人件費」は、東京23区における旅行速度が遅いことなどから、平均値を上回っています。
- 「乗車効率」は他事業に比べて低いものの、輸送人員の増加を反映して増加傾向にあります。

(注) 経営の効率性の平均値は、東京都が所属する京浜ブロックに属する公営企業(東京都、横浜市、川崎市)が対象。

利用者1回当たり
運行経費 (円)

＝経常費用/年間輸送人員

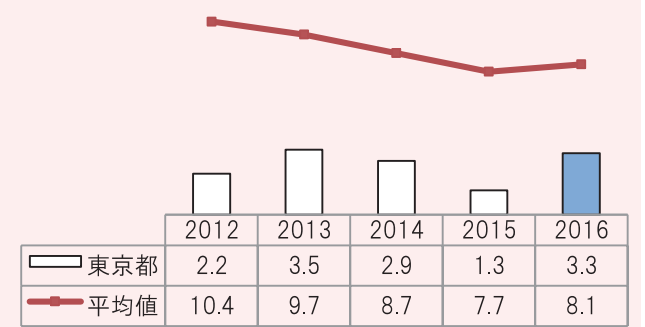
177.2円



他会計負担比率 (%)

＝(他会計補助金+他会計負担金)/経常費用×100

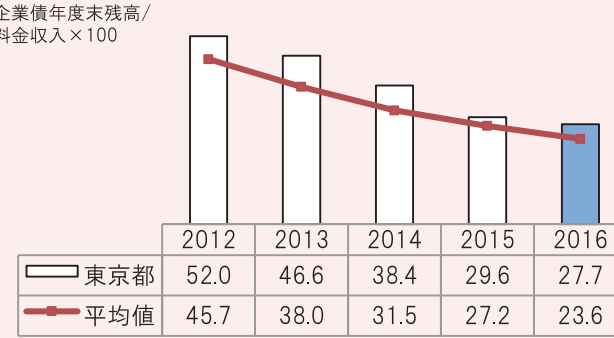
3.3%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

＝企業債年度末残高/
料金収入×100

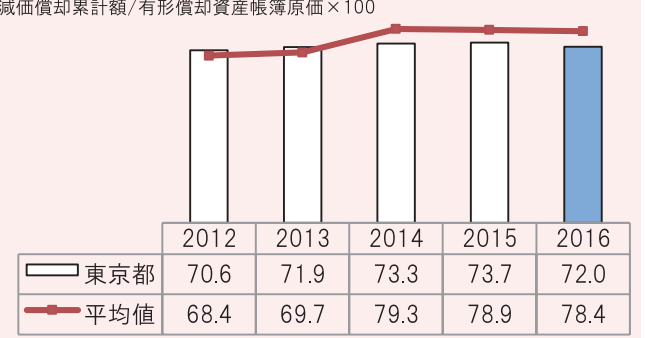
27.7%



有形固定資産
減価償却率 (%)

＝減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

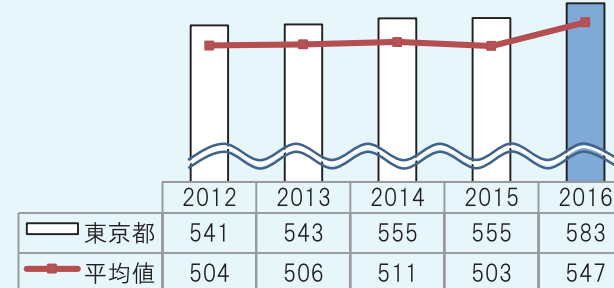
72.0%



走行キロ当たり
の人件費 (円)

＝職員給与費/年間実車走行キロ

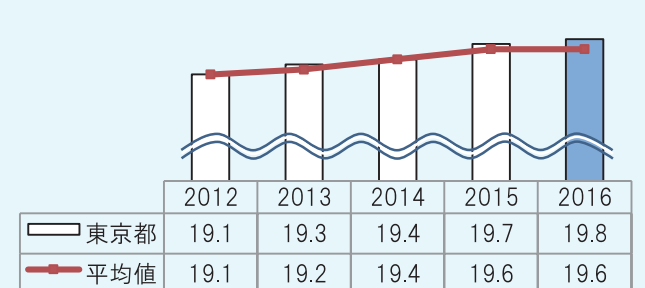
583円



乗車効率 (%)

＝(延人キロ/(年間実車走行キロ
×平均乗車定員数))×100

19.8%



3 経営指標比較（事業別）
【都営バス】系統別収支状況（2017年度）

系 番	統 号	区 間	損益額	収入	支出	乗車料 収入	乗車 人員	営業 係数
				(千円)		(千円/日)	(人/日)	
1	東 2 2	錦糸町駅前～東京駅丸の内北口	357,816	1,081,304	723,488	2,757	17,882	67
2	都 0 7	錦糸町駅前～門前仲町	294,562	1,220,781	926,220	3,081	20,959	76
3	品 9 9	品川駅港南口～（品川埠頭循環）～品川駅港南口	263,727	635,400	371,673	1,634	9,954	58
4	新小 2 1	西葛西駅前～新小岩駅前	199,735	810,003	610,268	2,047	13,757	75
5	都 0 2	大塚駅前～錦糸町駅前	148,337	1,253,747	1,105,410	3,103	19,997	88
6	北 4 7	足立清掃工場前～北千住駅前	145,603	599,406	453,803	1,517	9,511	76
7	錦 2 5	葛西駅前～錦糸町駅前	125,210	914,853	789,643	2,286	15,748	86
8	上 5 8	早稲田～上野松坂屋前	119,956	632,985	513,029	1,569	10,202	81
9	田 8 7	渋谷駅前～田町駅前	117,466	698,383	580,918	1,717	10,532	83
10	草 6 3	池袋駅東口～浅草寿町（往路）、雷門一丁目（復路）	104,225	781,560	677,335	1,944	12,487	87
11	王 5 7	赤羽駅東口～豊島五丁目団地	98,728	581,561	482,834	1,455	9,332	83
12	白 6 1	練馬車庫前～新宿駅西口	98,118	921,616	823,498	2,281	14,040	89
13	上 6 9	小滝橋車庫前～（上野公園循環）～小滝橋車庫前	82,127	429,081	346,954	1,070	6,763	81
14	東 1 6	東京駅八重洲口～東京ビッグサイト	82,045	694,433	612,387	1,720	10,273	88
15	王 4 0	池袋駅東口～西新井駅前	67,905	1,324,430	1,256,524	3,274	20,901	95
16	都 0 8	日暮里駅前～錦糸町駅前	58,235	675,040	616,805	1,670	10,927	91
17	品 9 3	大井町駅東口～目黒駅前	57,917	636,654	578,737	1,581	9,746	91
18	都 0 6	渋谷駅前～新橋駅前	53,886	757,847	703,961	1,830	11,178	93
19	都 0 1	渋谷駅前～新橋駅前	53,780	956,239	902,459	2,301	13,381	94
20	門 3 3	亀戸駅前～豊海水産埠頭	51,701	486,249	434,548	1,212	8,146	89
21	池 8 6	池袋駅東口～（渋谷駅東口循環）～池袋駅東口	51,625	542,354	490,729	1,321	8,624	90
22	品 9 6	品川駅港南口～（天王洲アイル循環）～品川駅港南口	50,549	257,266	206,717	645	3,720	80
23	飯 6 4	小滝橋車庫前～（九段下循環）～小滝橋車庫前	49,890	323,106	273,215	804	5,026	85
24	新小 2 2	葛西駅前～新小岩駅前	48,753	514,990	466,237	1,280	8,409	91
25	池 6 5	練馬車庫前～池袋駅東口	41,530	337,278	295,748	841	5,281	88
26	都 0 4	豊海水産埠頭～東京駅丸の内南口	40,896	493,201	452,305	1,224	7,392	92
27	錦 2 8	東大島駅前～錦糸町駅前	37,805	286,802	248,997	715	4,853	87
28	学 0 6	恵比寿駅前～日赤医療センター前	34,849	179,603	144,754	449	3,276	81
29	学 0 3	渋谷駅前～日赤医療センター前	33,624	401,562	367,938	992	7,408	92
30	里 2 2	日暮里駅前～亀戸駅前	30,080	476,610	446,530	1,176	7,812	94
31	品 9 1	品川駅港南口～（八潮パークタウン循環）～品川駅港南口	29,230	345,754	316,524	858	5,177	92
32	端 4 4	北千住駅前～駒込病院前	26,525	391,207	364,682	967	6,023	93
33	井 9 2	大井町駅東口～（八潮パークタウン循環）～大井町駅東口	23,963	274,083	250,119	680	4,290	91
34	葛西 2 1	葛西駅前～葛西臨海公園駅前	22,135	320,581	298,446	795	5,176	93
35	上 4 6	南千住駅東口～上野松坂屋前	14,134	396,379	382,245	975	6,464	96
36	亀 2 1	東陽町駅前～亀戸駅前	14,098	314,291	300,193	778	5,260	96
37	錦 1 8	錦糸町駅前～新木場駅前	12,811	128,302	115,491	475	3,055	90
38	西葛 2 7	西葛西駅前～臨海町二丁目団地前	12,314	255,860	243,546	632	4,149	95
39	直行 0 1	大井町駅東口～（八潮パークタウン循環）～大井町駅東口	7,064	21,370	14,305	82	505	67
40	急行 0 5	錦糸町駅前～日本科学未来館	5,542	76,009	70,467	576	3,618	93
41	王 5 5	王子駅前～新田一丁目	4,776	376,680	371,904	926	5,845	99
42	宿 9 1	新代田駅前～新宿駅西口	4,252	237,102	232,851	574	3,600	98
43	都 0 5	晴海埠頭～東京駅丸の内南口	4,154	805,990	801,836	1,973	11,718	99
44	学 0 2	高田馬場駅前～早大正門	4,131	291,216	287,085	712	4,812	99
45	王 4 5	王子駅前～北千住駅前	2,616	107,878	105,262	266	1,672	98
46	田 9 2	品川駅港南口～田町駅東口	1,300	90,068	88,768	220	1,278	99
47	渋谷 6 6	阿佐ヶ谷駅前～渋谷駅前	1,127	226,194	225,067	549	3,345	100
48	東 1 5	深川車庫前～東京駅八重洲口	▲ 93	258,388	258,482	634	3,894	100
49	亀 2 4	葛西橋～亀戸駅前	▲ 1,907	298,072	299,978	733	5,000	101
50	F L O 1	葛西駅前～錦糸町駅前	▲ 3,340	19,966	23,307	147	1,023	117
51	東 4 2	南千住車庫前～東京駅八重洲口	▲ 3,714	500,525	504,239	1,224	7,849	101
52	業 1 0	新橋～とうきょうスカイツリー駅	▲ 4,240	921,554	925,794	2,259	14,587	100
53	亀 2 9	なぎさニュータウン～亀戸駅前	▲ 4,620	415,668	420,288	1,021	7,058	101
54	反 9 6	五反田駅～六本木ヒルズ	▲ 5,860	243,542	249,402	596	3,611	102
55	A L O 1	東大島駅前～（小松川二丁目循環）～東大島駅前	▲ 6,660	18,700	25,360	66	593	136
56	平 2 8	東大島駅前～（平井駅前循環）～東大島駅前	▲ 7,024	89,518	96,542	218	1,431	108
57	亀 2 6	今井～亀戸駅前	▲ 7,330	195,880	203,210	479	3,242	104
58	飯 6 2	小滝橋車庫前～都営飯田橋駅前	▲ 7,872	30,619	38,491	73	474	126
59	C ・ H O 1	新宿駅西口～（都庁第一本庁舎循環）～新宿駅西口	▲ 8,244	33,229	41,473	81	489	125
60	葛西 2 4	船堀駅前～なぎさニュータウン	▲ 8,327	230,942	239,269	564	3,756	104
61	臨海 2 8	一之江橋西詰～葛西臨海公園駅前	▲ 9,207	563,559	572,766	1,385	8,946	102
62	品 9 7	品川駅高輪口～新宿駅西口	▲ 9,226	403,811	413,037	979	6,131	102
63	R H O 1	渋谷駅前～六本木ヒルズ	▲ 10,013	182,665	192,677	443	2,506	105
64	茶 5 1	駒込駅南口～秋葉原駅前	▲ 10,075	162,773	172,848	396	2,433	106
65	陽 2 0	東陽町駅前～東大島駅前	▲ 11,628	39,032	50,660	93	625	130

系 番	統 号	区 間	損益	収入	支出	乗車料 収入	乗車 人員	営業 係数
				(千円)		(千円/日)	(人/日)	
66	錦 4 0	南千住駅東口～錦糸町駅前	▲ 12,850	42,996	55,846	102	674	130
67	錦 2 2	臨海車庫～錦糸町駅前	▲ 12,912	80,076	92,987	194	1,285	116
68	反 9 4	五反田駅～赤羽橋駅前	▲ 13,065	14,301	27,366	31	184	191
69	早 7 7	早稲田～新宿駅西口	▲ 13,427	197,831	211,258	472	3,008	107
70	臨海 2 2	臨海車庫～船堀駅前	▲ 13,487	34,134	47,622	80	538	140
71	新小 2 9	葛西駅前～東新小岩四丁目	▲ 14,502	343,528	358,030	838	5,458	104
72	新小 2 0	東新小岩四丁目～一之江駅前	▲ 16,612	32,945	49,557	76	481	150
73	田 9 9	品川駅港南口～田町駅東口	▲ 16,739	11,440	28,179	23	142	246
74	学 0 5	目白駅前～日本女子大前	▲ 17,153	88,674	105,828	282	2,427	119
75	学 0 1	東大構内～上野駅前	▲ 17,642	72,069	89,711	172	1,167	124
76	井 9 6	大井町駅東口～（天王洲アイル循環）～大井町駅東口	▲ 18,987	53,825	72,811	126	760	135
77	豊洲 0 1	豊洲駅前～（豊洲一丁目・豊洲駅前・キャナルコート循環）～豊洲駅前	▲ 19,091	59,242	78,332	207	1,240	132
78	亀 2 3	亀戸駅前～（江東高齢者医療センター循環）～亀戸駅前	▲ 19,953	118,954	138,907	287	1,916	117
79	井 9 8	大井町駅東口～大井水産物埠頭前	▲ 20,118	54,745	74,863	159	922	137
80	西葛 2 6	船堀駅前～葛西臨海公園駅前	▲ 20,184	60,058	80,242	142	938	134
81	錦 2 7	小岩駅前～両国駅前	▲ 20,387	302,087	322,474	737	5,042	107
82	宿 7 4	新宿駅西口～東京女子医大前	▲ 21,384	144,391	165,775	331	2,092	115
83	草 4 1	足立梅田町～浅草寿町	▲ 21,500	330,842	352,342	803	5,264	106
84	秋 2 6	葛西駅前～秋葉原駅前	▲ 21,567	336,042	357,609	814	5,441	106
85	船 2 8	船堀駅前～篠崎駅前	▲ 21,889	31,014	52,903	70	465	171
86	上 6 0	池袋駅東口～上野公園	▲ 24,264	128,397	152,661	307	1,911	119
87	橋 6 3	小滝橋車庫前～新橋駅前	▲ 25,121	237,217	262,338	571	3,563	111
88	学 0 7	東大構内～御茶ノ水駅前	▲ 26,382	79,464	105,846	188	1,226	133
89	王 7 8	新宿駅西口～王子駅前	▲ 28,186	362,523	390,709	869	5,524	108
90	錦 1 1	錦糸町駅前～築地駅前	▲ 30,763	117,021	147,784	278	1,757	126
91	梅 7 6	裏宿町～上成木	▲ 32,702	108,821	141,523	255	1,929	130
92	高 7 1	高田馬場駅前～九段下	▲ 33,355	143,831	177,186	339	2,127	123
93	門 1 9	深川車庫前～門前仲町	▲ 33,768	185,393	219,161	447	2,856	118
94	錦 3 7	青戸車庫前～錦糸町駅前	▲ 34,271	265,422	299,693	642	4,270	113
95	草 4 3	足立区役所～浅草雷門	▲ 34,368	124,483	158,851	296	1,966	128
96	草 3 9	金町駅前～上野松坂屋前	▲ 34,806	288,828	323,634	697	4,572	112
97	西葛 2 0	西葛西駅前～なぎさニュータウン	▲ 34,819	331,535	366,355	805	5,326	111
98	王 4 1	王子駅前～新田一丁目	▲ 35,049	208,993	244,042	503	3,196	117
99	黒 7 7	目黒駅前～千駄ヶ谷駅前	▲ 37,257	169,651	206,909	406	2,532	122
100	波 0 1	東京レポート駅前～中央防波堤	▲ 40,040	88,183	128,223	206	1,335	145
101	浜 9 5	品川車庫前～東京タワー	▲ 40,475	56,964	97,439	127	773	171
102	葛西 2 2	葛西駅前～一之江駅前	▲ 40,830	65,036	105,866	148	984	163
103	草 2 4	東大島駅前～浅草寿町	▲ 40,881	125,951	166,833	297	2,013	132
104	草 6 4	池袋駅東口～浅草雷門南	▲ 41,794	418,706	460,499	1,014	6,572	110
105	梅 7 4	裏宿町～（成木循環）～裏宿町	▲ 42,636	45,049	87,685	98	704	195
106	S－1	東京駅丸の内北口～錦糸町駅前	▲ 43,171	67,031	110,202	153	1,061	164
107	梅 7 7	裏宿町～河辺駅北口	▲ 43,252	60,693	103,945	135	948	171
108	上 2 3	平井駅前～上野松坂屋前	▲ 45,366	330,061	375,427	798	5,276	114
109	東 4 3	荒川土手操車所前～東京駅丸の内北口	▲ 45,664	505,014	550,678	1,227	7,678	109
110	海 0 1	門前仲町～東京レポート駅前	▲ 46,109	690,765	736,874	1,677	11,021	107
111	門 2 1	東大島駅前～門前仲町	▲ 46,208	130,557	176,765	307	2,059	135
112	東 2 0	東京駅丸の内北口～錦糸町駅前	▲ 46,497	101,539	148,036	235	1,501	146
113	平 2 3	葛西駅前～平井駅前	▲ 47,140	132,092	179,232	311	2,090	136
114	都 0 3	晴海埠頭～四谷駅	▲ 48,116	113,595	161,710	264	1,573	142
115	南 2 8	葛西橋～両国駅前	▲ 50,297	180,895	231,192	430	2,899	128
116	宿 7 5	新宿駅西口～三宅坂	▲ 53,134	116,233	169,367	256	1,600	146
117	上 2 6	亀戸駅前～上野公園	▲ 60,753	125,129	185,881	291	1,920	149
118	木 1 1	木場駅前～（東京レポート・新木場三丁目循環）～東陽町駅前	▲ 64,481	375,288	439,770	893	5,433	117
119	市 0 1	新橋駅前～（築地中央市場循環）～新橋駅前	▲ 64,898	55,781	120,679	144	877	216
120	渋谷 8 8	渋谷駅前～新橋駅前	▲ 65,351	131,858	197,209	290	1,730	150
121	品 9 8	品川駅港南口～大田市場	▲ 66,478	281,092	347,570	672	3,912	124
122	錦 1 3	錦糸町駅前～晴海埠頭	▲ 72,146	627,495	699,642	1,503	9,817	111
123	早 8 1	早大正門～（渋谷駅東口循環）～早大正門	▲ 73,786	112,791	186,577	247	1,548	165
124	橋 8 6	目黒駅前～新橋駅前	▲ 74,446	132,757	207,203	303	1,896	156
125	王 4 9	千住車庫前～王子駅前	▲ 80,400	346,515	426,915	830	5,371	123
126	里 4 8	日暮里駅前～見沼代親水公園駅前	▲ 119,897	84,109	204,006	172	1,090	243
127	橋 7 0	青梅車庫前～花小金井駅北口	▲ 203,061	210,170	413,231	472	2,627	197



軌道事業/東京さくらトラム（都電荒川線）

東京さくらトラム（都電荒川線）は、三ノ輪橋～早稲田間12.2kmを運行しており、2017年度は、一日平均約4.8万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

1,744万人

在籍車両数

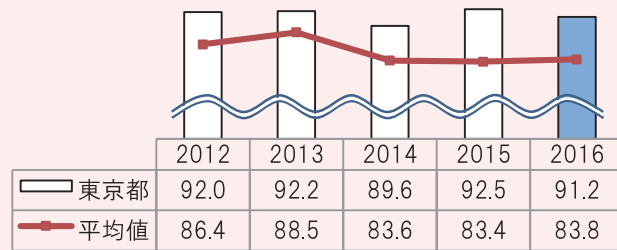
36両

経営の健全性

営業収支比率（%）

＝営業収益/営業費用×100

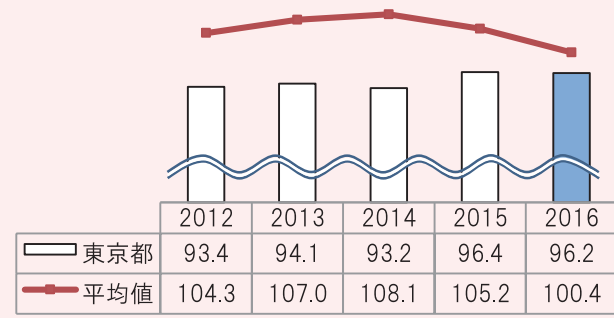
91.2%



経常収支比率（%）

＝経常収益/経常費用×100

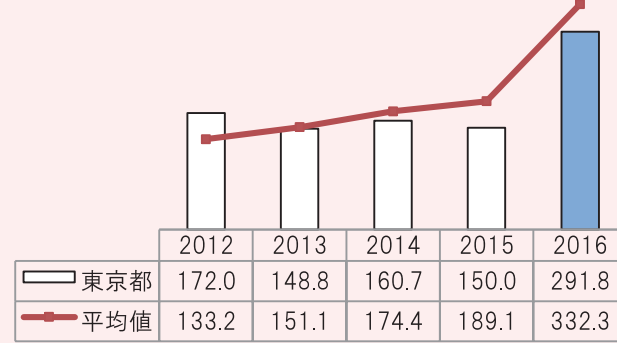
96.2%



流動比率（%）

＝流動資産/流動負債×100

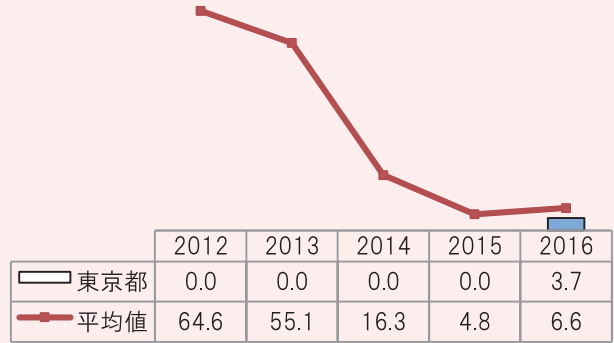
291.8%



累積欠損金比率（%）

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

3.7%



経営の効率性

走行キロ当たりの収入（円）

＝経常収益/年間客車走行キロ

3,783円



走行キロ当たりの運送原価（円）

＝経常費用/年間客車走行キロ

3,934円



経営の健全性

- 「経常収支比率」は、車両の更新に伴う減価償却費が大きいことなどにより、平均値よりも低い水準で推移しています。
- 「他会計負担比率」は平均値より低い水準にあります。
- 「企業債残高対料金収入比率」は、車両更新に伴って、企業債を発行した影響により、2015年度から増加しています。

経営の効率性

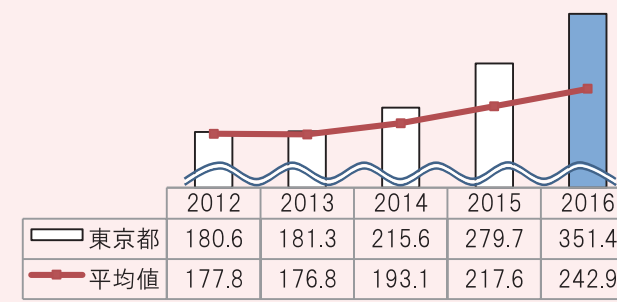
- 「走行キロ当たりの収入」及び「走行キロ当たりの運送原価」は2012年度と比較して、受託工事*1が増加した影響により、大きく増加しています。

*1 軌道に隣接する道路建設等の街路整備事業に伴い、交通局が建設局及び都市整備局から受託して行う、軌道移設や道路工事等

利用者1回当たり
運行経費（円）

＝経常費用/年間輸送人員

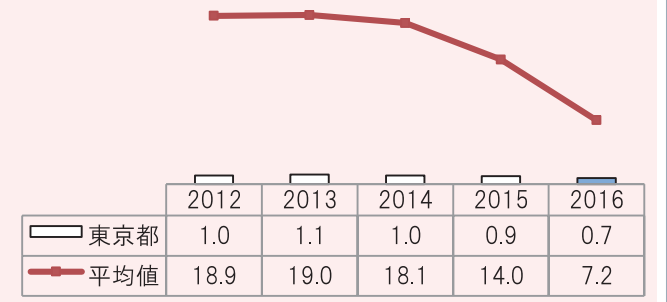
351.4円



他会計負担比率（%）

＝（他会計補助金＋他会計負担金）/経常費用×100

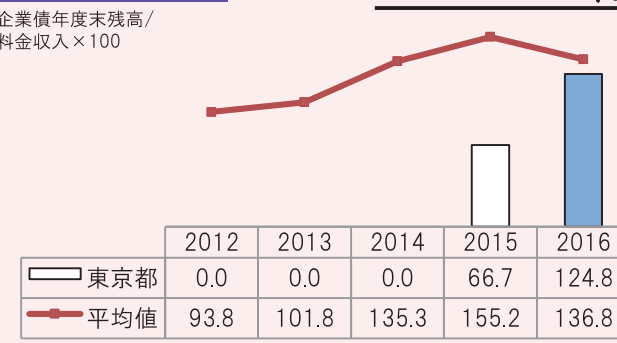
0.7%



企業債残高対料金
収入比率（%）

＝企業債年度末残高/
料金収入×100

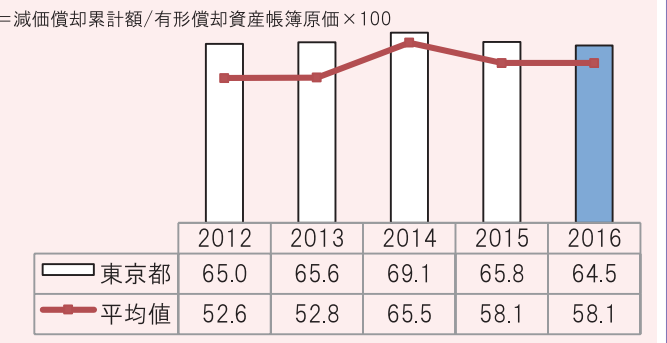
124.8%



有形固定資産
減価償却率（%）

＝減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

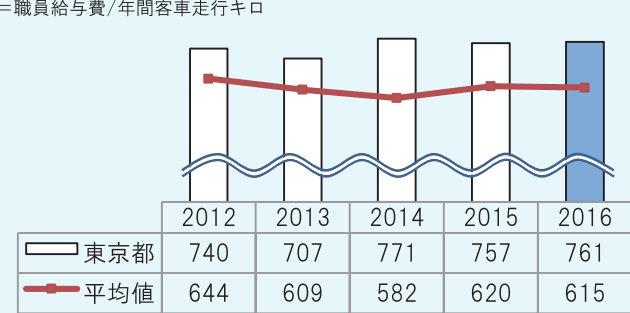
64.5%



走行キロ当たりの
人件費（円）

＝職員給与費/年間客車走行キロ

761円



乗車効率（%）

＝〔延入キロ/（年間客車走行キロ
×平均乗車定員数）〕×100

44.6%





新交通事業 / 日暮里・舎人ライナー

日暮里・舎人ライナーは、日暮里～見沼代親水公園間9.7kmを運行しており、2017年度は、一日平均約8.6万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

3,139万人

在籍車両数

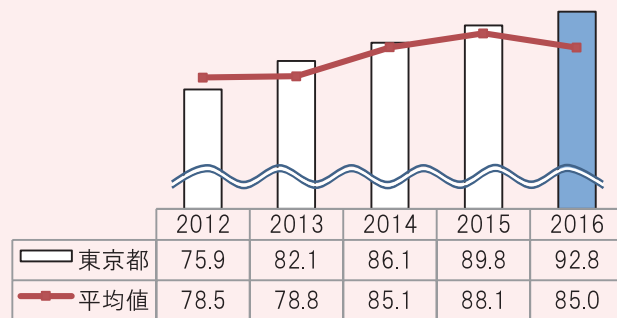
90両

経営の健全性

営業収支比率 (%)

＝営業収益/営業費用×100

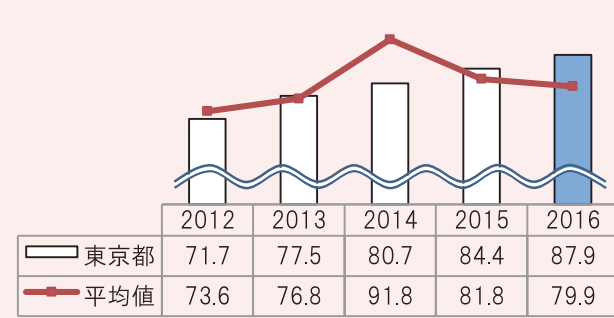
92.8%



経常収支比率 (%)

＝経常収益/経常費用×100

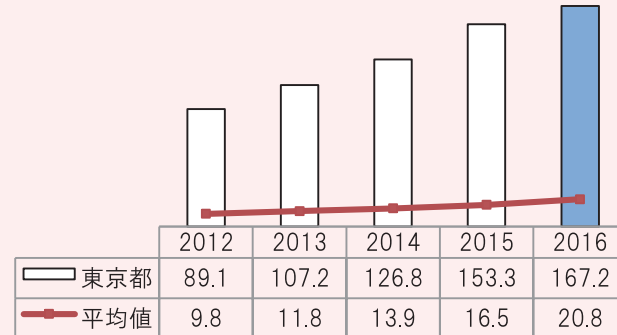
87.9%



流動比率 (%)

＝流動資産/流動負債×100

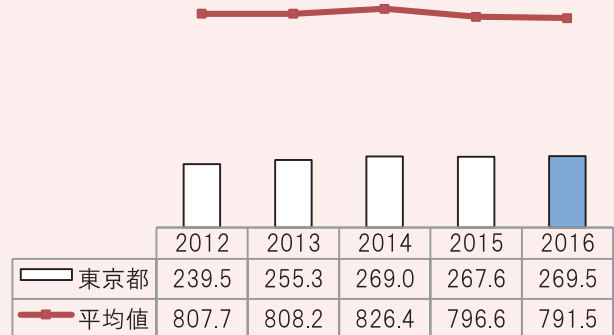
167.2%



累積欠損金比率 (%)

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

269.5%

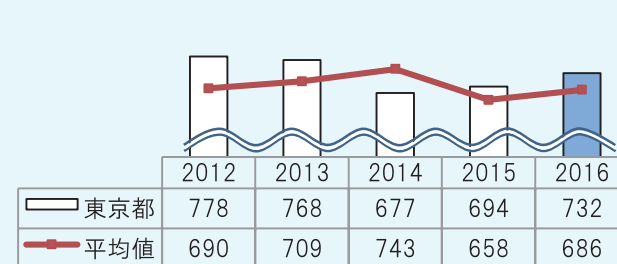


経営の効率性

走行キロ当たりの収入 (円)

＝経常収益/年間客車走行キロ

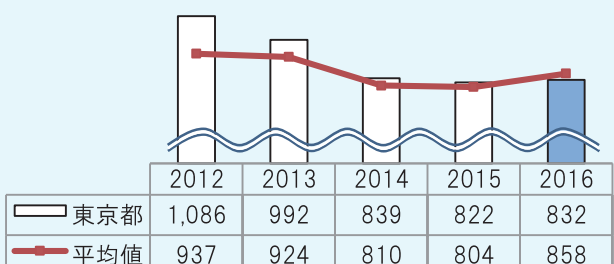
732円



走行キロ当たりの運送原価 (円)

＝経常費用/年間客車走行キロ

832円



経営の健全性

- 営業収益の増加などにより、「営業収支比率」及び「経常収支比率」は改善しているものの、費用が増加傾向にあることなどから、未だ赤字が続いています。
- 「他会計負担比率」は他事業よりも低い水準にあります。

経営の効率性

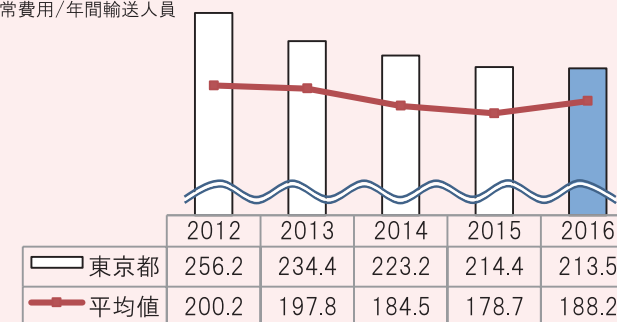
- 朝ラッシュなど、混雑率が高い時間帯がある一方、昼間や休日における乗車人員が少ないことから、「乗車効率」は低い水準で推移しています。

(注) 総務省の公表数値を使用しているため、懸垂電車事業の数値は、新交通事業の指標に含む。

利用者1回当たり
運行経費 (円)

＝経常費用/年間輸送人員

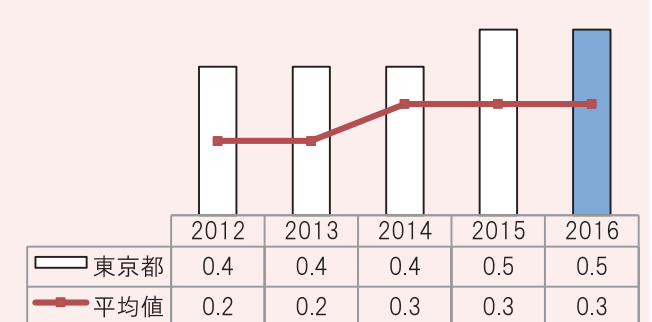
213.5円



他会計負担比率 (%)

＝(他会計補助金+他会計負担金)/経常費用×100

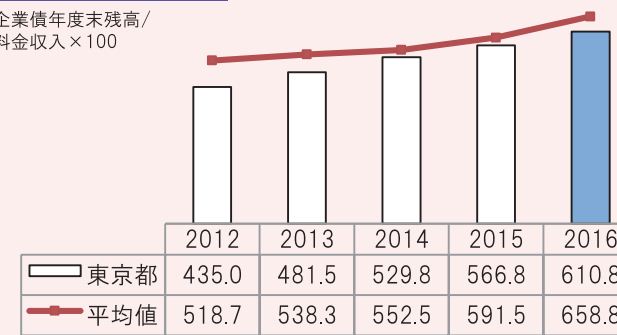
0.5%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

＝企業債年度末残高/
料金収入×100

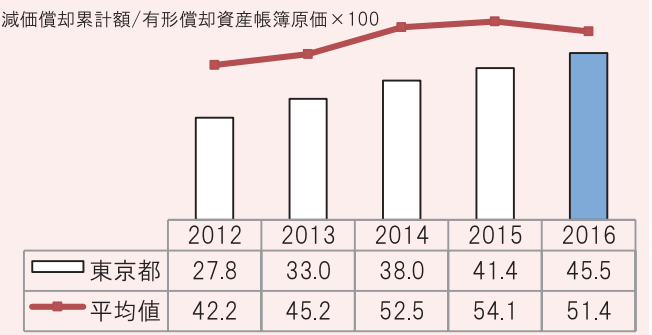
610.8%



有形固定資産
減価償却率 (%)

＝減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

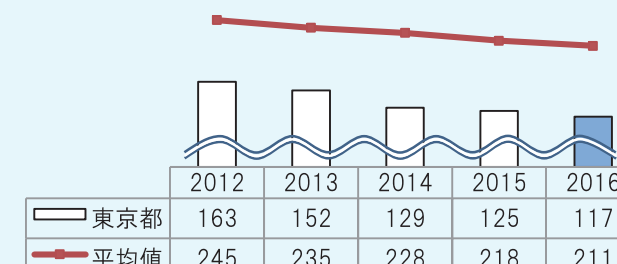
45.5%



走行キロ当たり
の人員費 (円)

＝職員給与/年間客車走行キロ

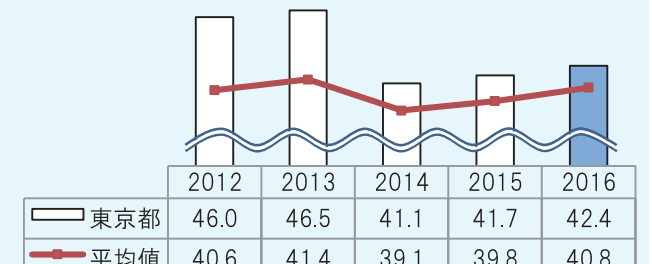
117円



乗車効率 (%)

＝{延入キロ/(年間客車走行キロ
×平均乗車定員数)}×100

42.4%



3 経営指標比較（事業別）

【日暮里・舎人ライナー】駅別乗降人員（2017年度）、上野動物園モノレールについて

(単位：人・％)

駅名	2017年度	前年比
日暮里	51,496	7.1
西日暮里	29,150	8.2
見沼代親水公園	13,013	5.8
西新井大師西	11,701	9.6
江北	10,177	7.0
谷在家	9,892	7.9
扇大橋	9,565	10.7
熊野前	9,532	6.7
舎人	8,173	10.9
高野	5,862	4.8
赤土小学校前	5,016	5.8
舎人公園	4,496	5.3
足立小台	3,938	3.8



上野動物園モノレールについて

上野動物園の東園と西園を結ぶモノレールは、将来の新しい都市交通機関として実験的に建設した我が国で最初のモノレールです。

この路線は、動物園の遊戯施設ではなく、鉄道事業法に基づく交通機関として営業しています。

昭和32年の開業以来、交通局の施設として運営してきましたが、平成12年に上野動物園を所管する東京都建設局に施設を無償で譲渡し、現在は交通局がその施設を借り受けて管理運営を行っています。

営業区間	上野動物園東園～上野動物園西園
営業キロ	0.3km
定員	62人 (31人/両)
所要時間	約1分半
開業	昭和32年12月17日 (※日本初)





電気事業 / 発電

電気事業は明治44年に始まり、現在、多摩川第一発電所、多摩川第三発電所及び白丸発電所の3か所の水力発電所を運転しており、2017年度は、約9万MWhの電力を販売しました。

年間発電電力量

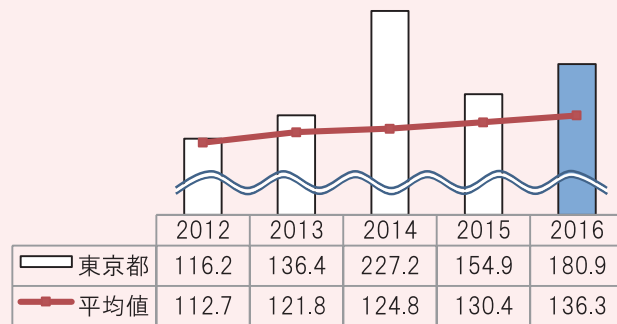
一般家庭 **35,000** 世帯分の使用量に相当

経営の状況

営業収支比率 (%)

= 営業収益 / 営業費用 × 100

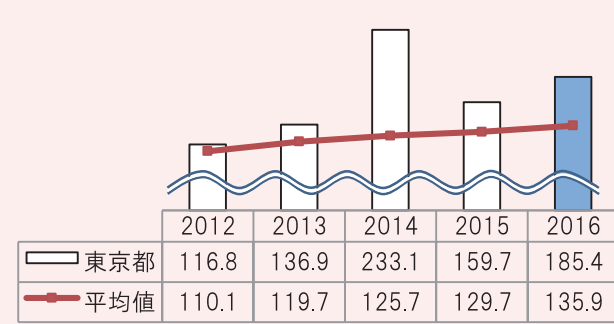
180.9%



経常収支比率 (%)

= 経常収益 / 経常費用 × 100

185.4%

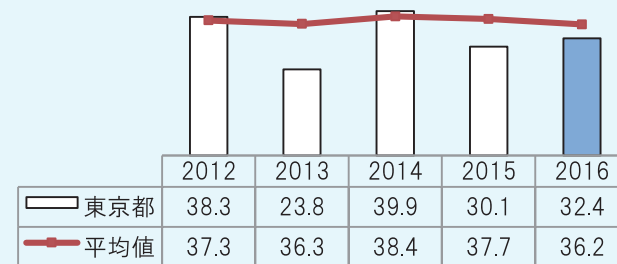


経営のリスク

設備利用率 (%)

= {年間発電電力量 / (最大出力 × 24h × 365日)} × 100

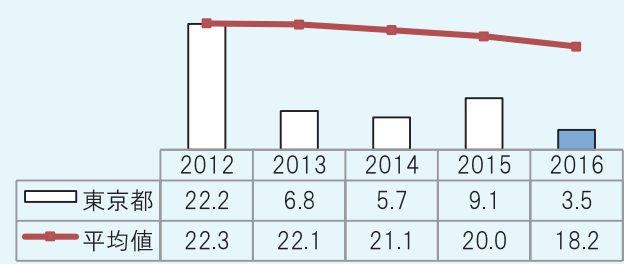
32.4%



修繕費比率 (%)

= {修繕費 / (営業費用 - 職員給与費)} × 100

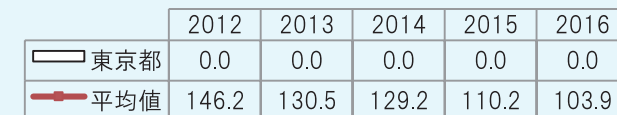
3.5%



企業債残高対料金収入比率 (%)

= 企業債年度末残高 / 料金収入 × 100

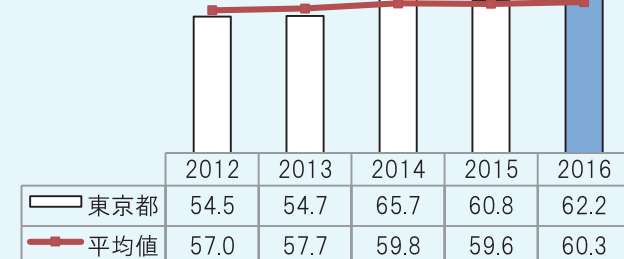
0%



有形固定資産減価償却率 (%)

= 減価償却累計額 / 有形償却資産帳簿原価 × 100

62.2%



経営の状況

- 「経常収支比率」及び「流動比率」は、ともに100%を上回っており、経営状況は安定しています。
- 2013年度から公募・入札により決定した事業者が発電した電気を売却しており、売電単価の上昇による営業収益の増加の影響から、「営業収支比率」及び「経常収支比率」とも2012年度以前と比べ数値が上昇しています。

経営のリスク

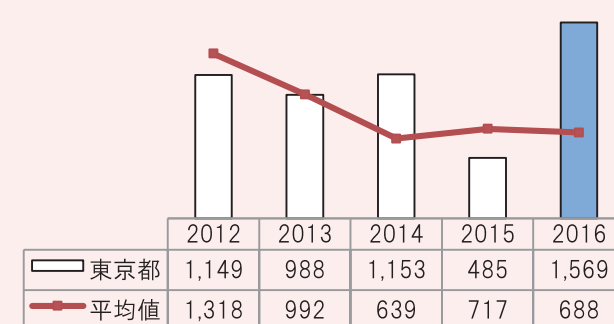
- 「設備利用率」はダム放流量の増減等により発電量が左右されることから、年度ごとの変動が大きく、平均値と比べて2016年度は低くなっています。
- 「修繕費比率」は2013年度以降、堆砂量が少なく土石排除工事を行っていないことなどから、平均値に比べ、低く推移しています。

(注) 「修繕費比率」については、経営レポート2018 から総務省公表の算出式に変更

流動比率 (%)

= 流動資産 / 流動負債 × 100

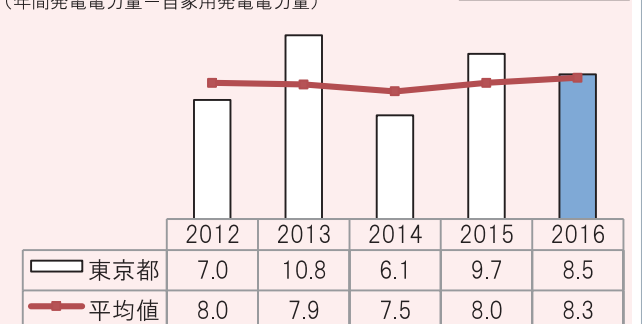
1,569%



供給原価 (円)

= (経常費用 - 長期前受金戻入) / (年間発電電力量 - 自家発電電力量)

8.5円





関連事業（不動産等活用事業・広告事業・構内営業事業）

関連事業とは、都営地下鉄、都営バス等の本来事業の経営基盤の強化に寄与し、質の高いサービスを提供するために、土地、建物などの資産の有効活用や広告事業を展開し、長期的に安定した収入を確保する事業です。

収入
（不動産等活用事業・
広告事業・構内営業事業）

107 億円

主な事業

収入（2017年度）

不動産等活用事業

事業跡地や鉄道高架下などの土地を、ビル・店舗・駐車場等の用地として、また、駅出入口ビル、局隣接地との共同開発等により建設したオフィスビルなどの貸付けを行い、賃貸料収入を得ています。
このほか、通信事業者に対し、駅やトンネル内への携帯電話等の基地局設置スペース提供や、光ファイバーケーブルの貸付けを行い収入を得ています。

64.1 億円

（内訳）

- ・高速電車 43.9 億円
- ・自動車運送 15.9 億円
- ・軌道 3.5 億円
- ・新交通 0.7 億円
- ・電気 0.1 億円

広告事業

地下鉄、バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナーにおける車両や駅、停留所等を活用し、ポスターやステッカー、デジタル広告などの販売により広告料収入を得ています。
また、地下鉄車内液晶モニターの増設や新規媒体の導入などに努めています。

33.9 億円

（内訳）

- ・高速電車 27.6 億円
- ・自動車運送 5.4 億円
- ・軌道 0.5 億円
- ・新交通 0.3 億円

* 0.1億円未満の事業は除く

構内営業事業

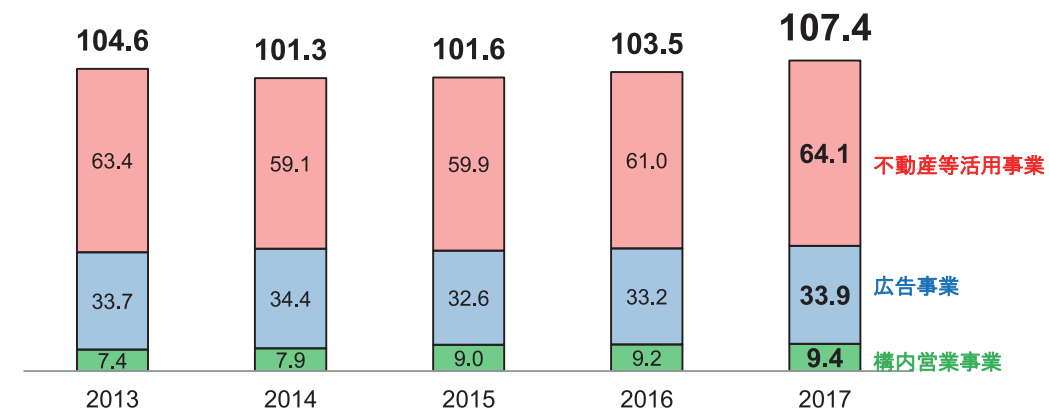
駅構内に店舗や自動販売機、期間限定ショップ、金融機関ATM、宅配受取ロッカーなどの様々な便利施設を設けているほか、PASMO電子マネーが使用できる店舗の拡大を通じて、お客様の利便性向上を図るとともに、構内営業料収入を得ています。

9.4 億円

（内訳）

- ・高速電車 9.2 億円
- ・新交通 0.2 億円

関連事業収入（不動産等活用事業・広告事業・構内営業事業）の推移
（単位：億円）



主なラインナップ（2017年度）

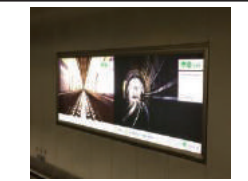
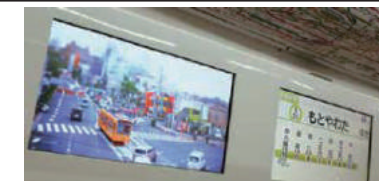
イメージ

- ＜土地＞ 建物敷地（オフィス・商業ビル）
店舗敷地
駐車場、駐輪場
- ＜建物＞ 共同ビル（ラティス青山スクエア、東京交通会館、有楽町駅前ビル“イトシア”）
駅出入口ビル（代々木クリスタルビル）
- ＜構築物＞ 光ファイバーケーブル
携帯電話、無線LAN基地局

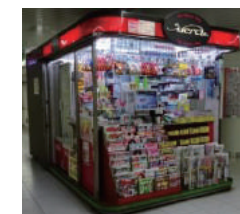


有楽町駅前ビル（イトシア）

- ＜車両媒体＞ 中張りポスター
まど上ポスター
車内液晶モニター
ラッピングバス
- ＜駅媒体＞ 駅張りポスター
電飾ボード
駅構内サイネージ
- ＜停留所＞ 広告付バス停留所



- ＜店舗・売店＞ メルシー売店
コンビニエンスストア
カフェ
期間限定ショップ
- ＜サービス機器＞ 飲料自動販売機
金融機関ATM
コインロッカー
宅配受取ロッカー



4 経営計画2016の進捗状況 進捗状況（2017年度時点）

交通局では、「東京都交通局経営計画2016」を2016年2月に策定しました。

東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関として、安全・安心の確保を最優先に、質の高いサービスを提供するとともに、まちづくりや観光振興、環境負荷の低減など東京の発展に貢献するため、現在この計画に基づき様々な取組を進めています。

計画2年目である2017年度は、関係機関との調整に時間を要したことなどにより、一部の事業で進捗が遅れたものの、計画策定後の状況変化にも対応しながら、掲げた施策の達成に向け着実に取組を進めました。

また、財政収支については、全ての事業において収支目標を上回ることができました。

本レポートでは、2017年度の主な取組について進捗状況をまとめました。

- 計画期間：2016年度～2021年度の6か年*

*2018年度に経営計画を改定予定

- 計画事業費：1,574億円（2016年度～2018年度の3か年）

- 財政収支計画

（税込み）

事業	事項	2016年度	2017年度	2018年度
高速電車事業 （都営地下鉄）	収支目標	累積欠損金の縮減に努める		
	経常損益	200億円程度の 黒字 で推移		
	実績	348億円	360億円	-
自動車運送事業 （都営バス）	収支目標	経常損失の改善に努める		
	経常損益	9～19億円程度の 赤字 で推移		
	実績	3.2億円	11.1億円	-
軌道事業 （東京さくらトラム （都電荒川線））	収支目標	経常損失の改善に努める		
	経常損益	3～4億円程度の 赤字 で推移		
	実績	▲1.2億円	0.8億円	-
新交通事業 （日暮里・舎人ライナー）	収支目標	経常損失の改善に努める		
	経常損益	9～13億円程度の 赤字 で推移		
	実績	▲7.5億円	▲4.1億円	-
電気事業 （発電）	収支目標	経常利益の確保に努める		
	経常損益	3～6億円程度の 黒字 で推移		
	実績	7.8億円	5.5億円	-

ホームページへの掲載について

「経営計画2016」の進捗状況については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。
 東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 経営計画 > 東京都交通局経営計画2016
 平成29年度進捗状況
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/achievement2017.html>

史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現に向けた取組

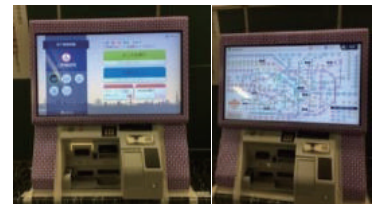
史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現に向け、局一丸となってハード・ソフト両面から取組を進めました。

東京2020大会に向けた都営地下鉄の主な取組

- 誰もが利用しやすい券売機の導入

都営地下鉄駅の自動券売機について、8言語対応の券売機へ順次更新しました。

		2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
券売機等	計画	順次更新	約110台更新	約250台更新	—
	実績	131台更新	106台更新		
次世代券売機	計画	32台	—	—	—
	実績	32台	—		

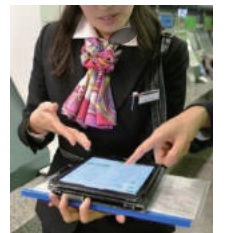


次世代券売機
（路線表示機能付券売機）

- コンシェルジュ（駅案内係）の配置拡大

英語が話せるコンシェルジュの配置駅を拡大するとともに、中国語での案内も可能な駅を拡大しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	4駅 配置拡大	3駅 配置拡大	—	10駅配置拡大 （累計30駅） （東京2020大会まで）
実績	4駅 配置拡大	3駅 配置拡大		



コンシェルジュ（駅案内係）

- エレベーター整備の推進

乗換駅等でのエレベーター整備について、大江戸線新宿西口駅への増設を完了しました。

東京2020大会に向けた都営バスの主な取組

- 燃料電池バスの先導的な導入

水素社会の実現に貢献するため、燃料電池バスを3両追加導入し、計5両に拡大しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	2両導入	順次 導入拡大	→	80両導入
実績	2両導入	3両導入		



追加導入した燃料電池バス

安全・安心の確保

安全・安心を最優先し、災害に強く、事故のない都営交通を実現するため、全職員が一丸となって取組を進めました。

安全対策の強化

○ ホーム事故「0」を目指した取組

- （新宿線）2019年秋の全駅ホームドア整備に向け、大島駅にホームドアを先行的に設置し、試験や訓練等を実施しました。
- （浅草線）東京2020大会までに新橋駅・大門駅・三田駅・泉岳寺駅の4駅にホームドアを先行整備するため、大門駅にホームドアを試験設置し、営業列車を用いた動作検証等を行いました。さらに、2023年度までに全ての当局管理駅での整備完了を目指すこととし、検討を進めました。

		2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
新宿線	計画	準備工事	→	順次整備	全駅整備完了 (2019年秋まで)
	実績	準備工事	先行整備		
浅草線	計画	仕様検討	準備工事	→	新橋駅・大門駅・三田駅・ 泉岳寺駅への整備 (東京2020大会まで)
	実績	仕様検討	準備工事		



新宿線ホームドア（大島駅）



浅草線ホームドア
(試験設置・大門駅)

災害対策等の強化

○ 地下鉄の早期運行再開を図るための耐震対策

東日本大震災を踏まえ、施設等の安全性をより一層高めるとともに、更なる耐震対策として、高架部の橋脚及び地下部の中柱の補強を順次進めました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	順次実施	→	約5割 工事完了	約7割工事完了
実績	順次実施	順次実施		



高架部橋脚の耐震補強工事の様子

○ 地下鉄における防犯カメラの増設

テロ対策等に向けた更なるセキュリティ強化を図るため、地下鉄駅構内に防犯カメラを増設するとともに、車内でのいたずらや迷惑行為等、犯罪行為を防止するため、地下鉄車内への防犯カメラの設置を進めました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	順次増設	→	→	重点整備箇所への設置完了（東京2020大会まで）
実績	順次増設	順次増設		



車両内防犯カメラ

質の高いサービスの提供

お客様が求める質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい都営交通を実現するため、取組を進めました。

輸送需要への的確な対応

○ 地下鉄の輸送力の増強

大江戸線において、2018年度中の3編成増備に向けて車両の製造を行うとともに、新宿線において、車両更新に合わせて5編成を8両編成から10両編成にし、輸送力を増強しました。

		2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
大江戸線 増備	計画	—	—	3編成	—
	実績	—	—		
新宿線 10両編成化	計画	5編成	5編成	—	—
	実績	5編成	5編成		



新宿線 10-300形4次車外観

○ 日暮里・舎人ライナーの車両増備

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	1 編成増備	—	—	2 編成増備 (2019年度まで) *
実績	1 編成増備	(追加 2 編成増備) 設計・製造		

*当初計画からの変更

旅行者にも利用しやすい環境の整備

○ 駅ナンバリングの導入（東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー）

駅ナンバリングを導入するとともに、案内サインを改修しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	検討	導入	－	－
実績	検討	導入		



東京さくらトラム
(都電荒川線)



日暮里・舎人ライナー

新たなバスモデルの展開

○ 新たなバスモデルの展開

誰もが利用しやすい新たな路線バスの実現に向けて、「都営バス構想2020」を公表しました。

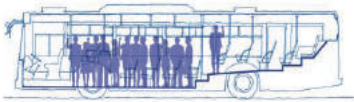
車内の通路段差を解消したフルフラットバスについて、2018年内の運行開始に向け、仕様の検討や車両の発注を行いました。

ICTを活用し、駅改札口やバス停留所から車内まで連続した情報案内を提供するため、フルカラー行先表示器や観光情報等を表示する液晶モニターの導入を進めました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	路線選定・仕様検討	試行実施	検証・拡大	5系統で展開
実績	路線・仕様の検討	「都営バス構想2020」公表 (フルフラットバス) 仕様検討・発注 (行先表示器・液晶モニター) 順次導入		

(イメージ)

ノンステップバス



フルフラットバス

東京の発展に貢献

首都東京が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、東京の発展に貢献する都営交通を実現するため、取組を進めました。

まちづくりとの連携

- 勝どき駅の大規模改良
大江戸線勝どき駅の大規模改良工事について、2018年度の供用開始に向けて、土木工事のほか、建築・設備工事を順次実施しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	建築・設備工事	→	供用開始	既設ホームの改良完了 (2020年度まで)
実績	建築・設備工事	建築・設備工事		



拡張するコンコースの様子（工事中）

- 浅草線のリニューアル・プロジェクト
2020年に開業60周年を迎える浅草線のリニューアル・プロジェクトとして、駅のデザインガイドラインの検討を行いました。また、新型車両を1編成導入する計画でしたが、試験・調整に時間を要したため、2018年度に導入することとしました。（2018年6月30日営業運転開始）

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	(プロジェクト) 始動	→	基本構想発表	—
実績	(プロジェクト始動) 新型車両デザイン決定・発注	駅デザインガイドライン等検討		



新型車両「5500形」

持続可能な社会の実現への貢献

- バス停留所へのLED照明の設置拡大
バス停留所において、LED照明の設置を拡大し、省エネの取組を推進しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	100棟	100棟	100棟	520棟
実績	100棟	100棟		



照明をLED化したバス停留所上屋

沿線地域の発展に貢献

- 福祉インフラ整備事業への協力
福祉施設を整備する事業者に貸し付けを行った用賀職員寮跡地において、認可保育所等が開設されました。

【用賀職員寮跡地】				
	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	工事	竣工	—	—
実績	工事、竣工	利活用開始		



サービス付き高齢者向け住宅に保育所と居宅介護事業所を併設した「グレイブス用賀」

経営基盤の強化

事業環境の変化にも迅速かつ的確に対応するとともに、中長期的に安定した事業運営を行っていくため、経営基盤の強化に向けて取組を進めました。

関連事業の推進

- 資産の利活用
局の所有する不動産を有効活用し、安定した収入を確保するため、都営バス目黒分駐所跡地について、工事を完了し、利活用を開始しました。

		2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
都営バス目黒分駐所跡地	計画	工事	竣工・利活用開始	—	—
	実績	工事	竣工・利活用開始		
旧工務事務所跡地（南青山）	計画	工事	竣工・利活用開始	—	—
	実績	竣工・利活用開始	—		
都営バス大塚支所跡地	計画	公募準備	公募実施	利活用開始	—
	実績	公募準備	公募準備 ^{*1}		
大門庁舎（浜松町）	計画	都市計画決定	再開発組合設立認可	権利変換計画認可	—
	実績	都市計画決定	利活用検討 ^{*2}		

*1 都営バス大塚支所跡地：関連工事の遅れにより、事業者の公募が2018年度となりました。
*2 大門庁舎：関係機関との協議により再開発事業に遅れが生じたものの、利活用に向けた検討を進めました。



利活用を開始した目黒分駐所跡地（目黒セントラルスクエア）

- 広告付バス停留所上屋の拡大
民間事業者を活用した整備手法も取り入れながら、設置を拡大しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	20棟	20棟	20棟	100棟 (東京2020大会まで)
実績 [*]	9棟	50棟		

* P P P事業者施工分を含む。



広告付バス停留所上屋

安定的な人材の確保と育成

- 運輸系職員の人材確保
事業を支える有為な人材の安定的な確保のため、高等学校や専門学校への働きかけを強化したほか、バス乗務員の確保を図るため、採用P R動画の配信や転職イベントへの参加を行うとともに、大型二種免許取得を支援する養成型選考を実施しました。
- プロフェッショナル職員の育成と技術の継承
保守職員の技術力の維持・向上を図るため、研修所における研修や、外部の技術専門機関等を活用した専門研修を実施するとともに、電気や保線等の保守職場において模擬実習設備を整備し、実践的な研修・訓練を行いました。

ホームページの情報公開ポータルでは、次の内容を紹介しています

- ☐ 交通局の概要
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/service/>)
- ☐ 東京都交通局経営計画
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/>)
- ☐ 予算
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/budget.html>)
- ☐ 決算
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/closing/>)
- ☐ 情報公開の状況
(https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/open_situation.html)
- ☐ 要綱・要領一覧
(https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/yoko_yoryo/)
- ☐ 東京都交通局のサービス推進活動
(https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/promotion_activity.html)
- ☐ 自律改革に向けた取組
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/reform.html>)
- ☐ 公金支出情報
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/koukin.html>)
- ☐ 職務に対する働きかけの対応状況
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/hatarakikake.html>) など

このレポートに対するご意見・ご要望をお寄せください

お寄せいただいたご意見・ご要望を参考とさせていただき、より分かりやすい経営情報の発信に努めます。

ご意見・ご要望などは、交通局ホームページの「ご意見・ご要望」のページをご利用ください。

東京都交通局ホームページ > お問い合わせ > ご意見・ご要望
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/opinion/>)

都営交通お客様センター

都営交通に関するお問い合わせ全般を承っております。

午前9時～午後8時〔年中無休〕
電話番号 03-3816-5700
FAX 03-3812-7640
※自動音声ガイダンスに従って、下記の3つのうちからご希望のお問い合わせ内容にあわせて番号をお選びください。
1番：運賃・時刻・ルートなどのお問い合わせ
2番：お忘れ物などのお問い合わせ
3番：その他、ご意見・ご要望など

お客様からの声についても、情報公開しております。

<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/customer.html>

東京都交通局2018経営レポート

平成31年1月発行

編集・発行

東京都交通局

総務部 財務課

所在地 163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話番号 03-5321-1111（代表）

すべての「今日」のために。

